



東日本大震災復興支援活動

笑顔をお届けするプロジェクト in school library

2015/6~2017/6



主催 笑顔プロジェクト製作委員会



contents

ごあいさつ	1
笑顔を届けるプロジェクト in school library について	2
開催校一覧	3
開催各校 -小学校-	4
開催各校 -中学校・高等学校-	10
プロジェクトご案内パンフレット	28
プロジェクト使用書籍リスト	30
編集後記	42
読書の歌	45

ごあいさつ

キハラ株式会社
代表取締役
木原 一雄

これまでキハラ株式会社は、図書館業界の創造に貢献する製品づくりとともに、さまざまな社会貢献活動をすすめてきました。

2011年3月11日の東日本大震災以降、復興支援活動として、被災地の図書館に直接ブックトラックを届ける「ブックトラック支援」、被災地の学校図書館にELISE-Egg3 Kizuna版を届ける「学校図書館げんきプロジェクト」、被災地の子どもたちの描いた絵をブックトラックにして地元の図書館に届ける「笑顔をお届けのプロジェクト」、地震や津波で毀損した図書を修理する技術の普及のため、被災地で行った「製本講習会」、2013年～2014年にかけては、日本出版クラブ様と共に、3.11以降に出版された本を一堂に集めた展示会「本の力展」、その後には北海道から九州まで全国12ヶ所を巡回した「本の力巡回展」など、毎年さまざまな活動を行ってまいりました。

東日本大震災以降も地震、噴火などの自然災害が後を絶ちません。学校では防災や自然災害に関する授業などが盛んに行われていますが、図書室に置ける関連資料は限られているのが現状です。

この度、そうした状況の学校図書館において、未来を担う子どもたちに東日本大震災でなにがあったのかを広く伝えていくことは大切な使命であると捉え、2015年より「笑顔をお届けのプロジェクト in school library」をキハラ被災地支援活動として企画・開催いたしました。

この活動によって、遠く離れた地域に住む同世代の友達からの応援メッセージを見た被災地の子どもたちが、勇気づけられ、よりいっそうの素敵な笑顔を取り戻すことを願っています。



東日本大震災復興支援活動

笑顔をお届けするプロジェクト in school library について

企画概要

2013年8月1日から11日までの11日間、日本出版クラブ会館で開催された「3.11以降の全出版『本の力』展」では、東日本大震災発生より2年間に出版された関係書籍が1470タイトル、4500冊が集まりました。9月からは公共図書館・大学を中心とした「本の力巡回展」として2014年6月までの間に11機関にて開催し、11月には第15回図書館総合展特別展示としてご紹介しました。

2015年6月には1年間の準備期間を経て、小・中・高等学校を対象とした「笑顔をお届けするプロジェクト in school library」を始めることができました。本の力展の中から東日本大震災関連書籍150冊を4セット、計600冊を選書アドバイザー 齋藤紀子氏が選書し、配架用ブックトラックと共に貸し出すという内容です。

日本全国よりお申込みいただきました開催校では、震災当時の資料による授業との連携や防災教育にも活用されています。本を読んだ生徒さん達からは、専用の応援メッセージカードに心温まるメッセージをいただきました。

数多くの応援メッセージカードから、各学校3枚のカードを本誌にて皆様にご紹介いたします。



笑顔プロジェクト製作委員会によるメッセージカード選出作業

「笑顔をお届けするプロジェクト in school library」は電子書籍にてご覧いただけます。
<http://www.kihara-lib.co.jp/egao/index.htm>



開催校一覧

〈小学校〉

掲載頁	学校名	開催期間	都道府県	書籍セット
P.4	立教女学院小学校	2015/11/20～2015/12/21	東京都	A
P.5	名古屋市立戸笠小学校	2016/2/1～2016/3/18	愛知県	A
P.6	東御市立滋野小学校	2016/4/7～2016/5/27	長野県	A
P.7	九重町立南山田小学校	2016/7/18～2016/8/31	大分県	A
P.8	北杜市立高根東小学校	2016/11/15～2017/1/20	山梨県	A
P.9	石狩市立聚富小中学校	2017/2/9～2017/3/15	北海道	A

〈中学・高校〉

掲載頁	学校名	開催期間	都道府県	書籍セット
P.17	昭和学院中学校・高等学校	2015/6/17～2015/7/16	千葉県	B
P.18	市川学園市川中学校・高等学校	2015/6/17～2015/7/16	千葉県	B
P.19	豊島岡女子学園	2015/7/10～2015/8/28	東京都	C
P.10	荒川区立南千住第二中学校	2015/10/26～2015/11/27	東京都	C
P.11	呉市立呉中央中学校	2015/10/29～2015/11/30	広島県	B
P.22	千葉県立我孫子東高等学校	2016/1/26～2016/3/10	千葉県	C
P.23	柏市立柏高等学校	2016/4/22～2016/6/6	千葉県	B
P.12	周南市立周陽中学校	2016/5/16～2016/6/30	山口県	D
P.24	東京学芸大学附属高等学校	2016/6/6～2016/7/22	東京都	C
P.20	上智福岡中学高等学校	2016/6/13～2016/7/15	福岡県	B
P.25	京都府立久美浜高等学校	2016/9/1～2016/10/11	京都府	D
P.13	平群町立平群中学校	2016/9/5～2016/10/21	奈良県	C
P.21	工学院大学附属中学校・高等学校	2016/10/6～2016/12/20	東京都	B
P.14	桜井市立桜井東中学校	2016/11/1～2016/12/23	奈良県	C
P.26	武蔵野大学附属千代田高等学院	①2017/1/18～2017/3/14 ②2017/6/1～2017/6/30 ③2017/9/1～2017/9/30	東京都	①B ②C ③C
P.15	市川市立大洲中学校	2017/2/27～2017/3/17	千葉県	B
P.16	豊川市立代田中学校	2017/4/26～2017/5/23	愛知県	B
P.27	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	2017/6/1～2017/6/30	千葉県	B

立教女学院小学校

所在地：東京都杉並区久我山 4-29-60

書籍セット：A セット

開催期間：2015/11/20～2015/12/21



メッセージカード書籍データ

1 書名：つなみ
著者：田畑ヨシ 出版社：産経新聞出版

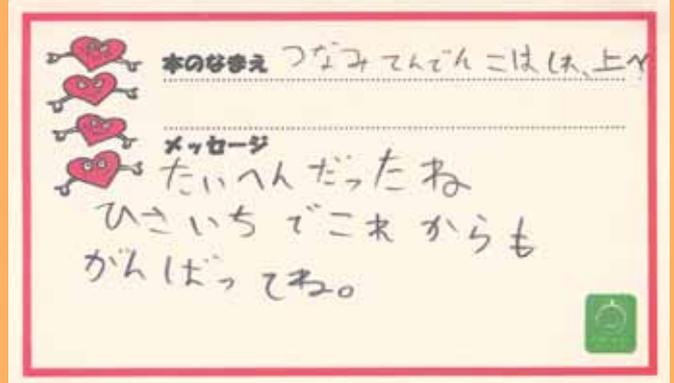
2 書名：3・11 あの日のこと、あの日からのこと
著者：鎌田雅子 出版社：かがわ出版

3 書名：ドラえものの地震はなぜ起こるどう身を守る
著者：藤子・F・不二雄 出版社：小学館

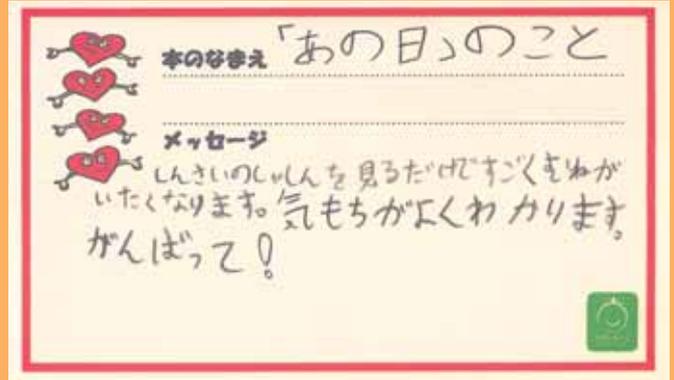
小学1・2年生が、絵や写真を見て、小さい胸をふるわせながら「大変だったね」と呼びかけている姿が愛おしく感じました。

選者代表 齋藤 紀子

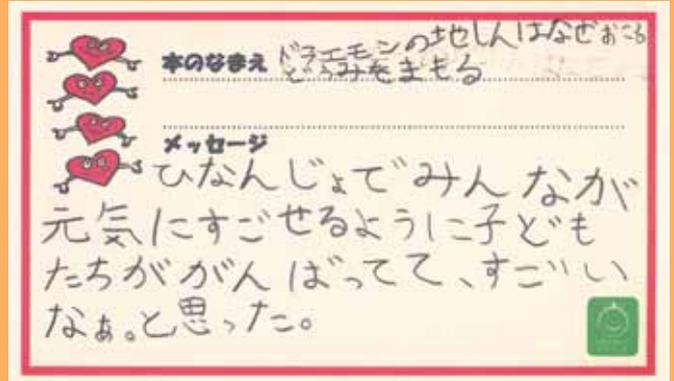
1



2



3



名古屋市立戸笠小学校

所在地：愛知県名古屋市緑区相川 3-60

書籍セット：A セット

開催期間：2016/2/1 ~ 2016/3/18

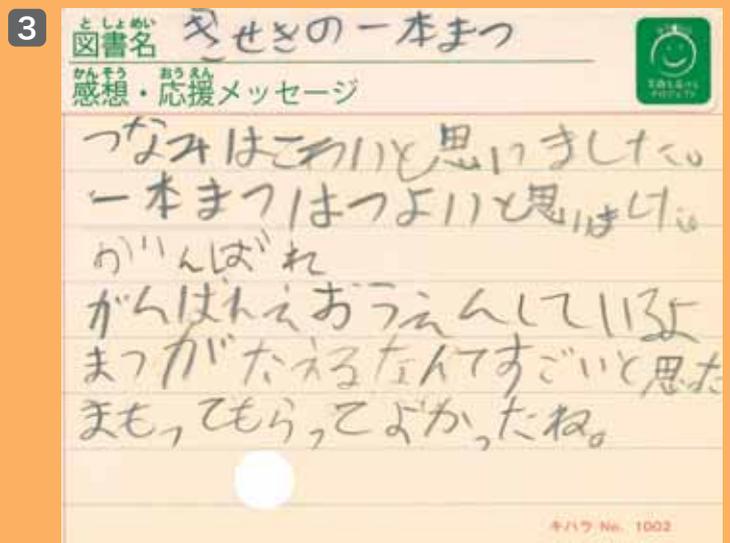
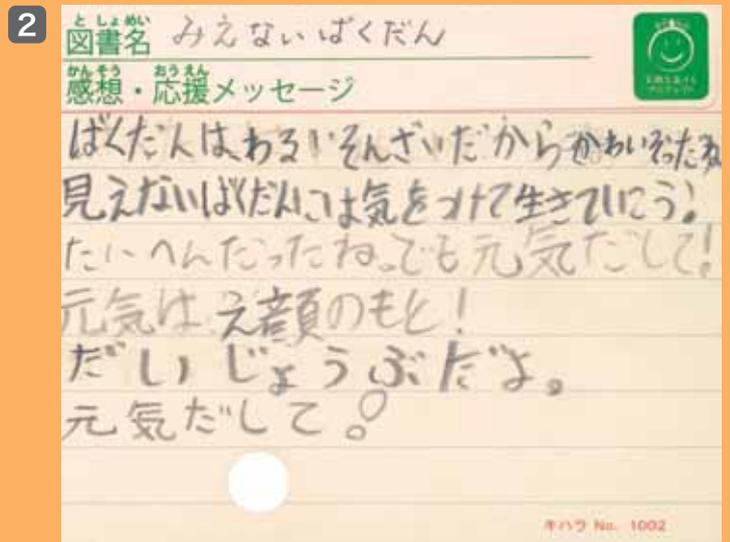
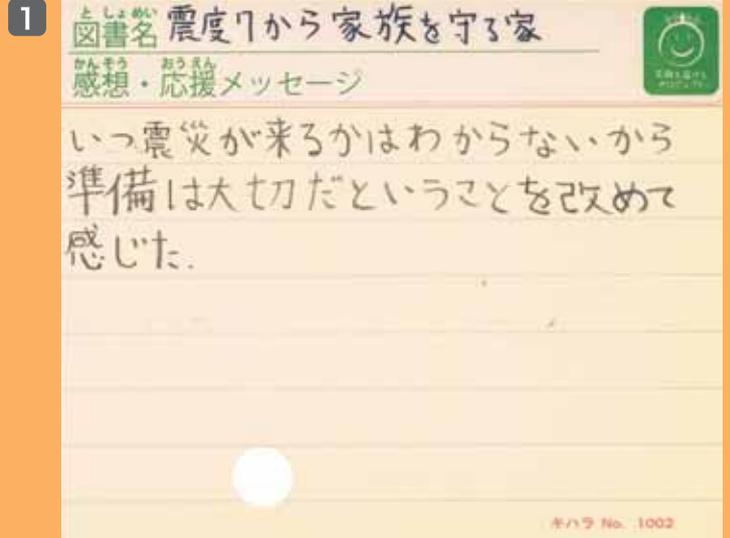


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：震度7から家族を守る家
著者：国崎信江 出版社：潮出版社
- 2 書名：みえないばくだん
著者：たかはしよしこ 出版社：小学館
- 3 書名：奇跡の一本松
著者：なかだえり 出版社：汐文社

「地震の予知は出来ない」ことを理解し、日ごろの準備の大切さに気が付いてくれました。子ども達の「大丈夫だよ」というあたたかい励ましにも胸を突かれます。

選者代表 齋藤 紀子



東御市立滋野小学校

所在地：長野県東御市滋野乙 2966-3

書籍セット：A セット

開催期間：2016/4/7 ~ 2016/5/27

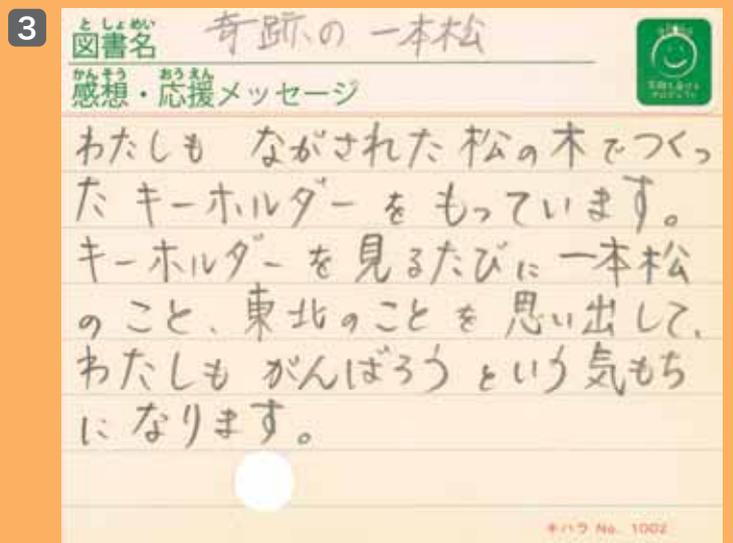
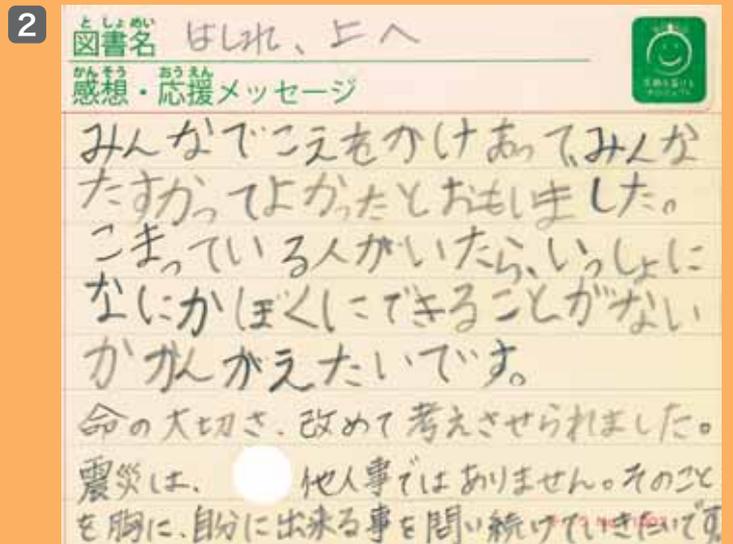
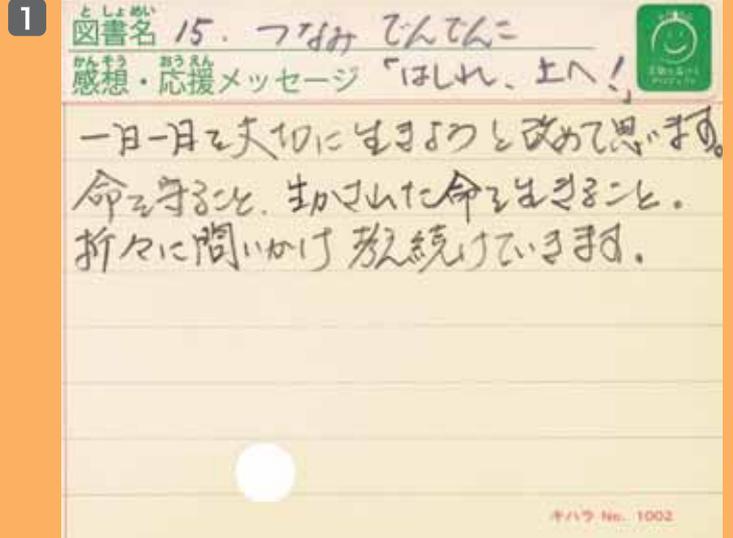


メッセージカード書籍データ

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1 | 書名：はしれ、上へ！
著者：指田和子
出版社：ポプラ社 |
| ----- | |
| 2 | 書名：はしれ、上へ！
著者：指田和子
出版社：ポプラ社 |
| ----- | |
| 3 | 書名：奇跡の一本松
著者：なかだえり
出版社：汐文社 |

命を守ること、守られた命を大切に生きる事の大事さを学んでくれました。震災で失われた多くの命に想いを馳せ、今ある命に向かい合う使命感を感じてくれたようです。

選者代表 齋藤 紀子



九重町立南山田小学校

所在地：大分県玖珠郡九重町町田 609

書籍セット：A セット

開催期間：2016/7/18～2016/8/31

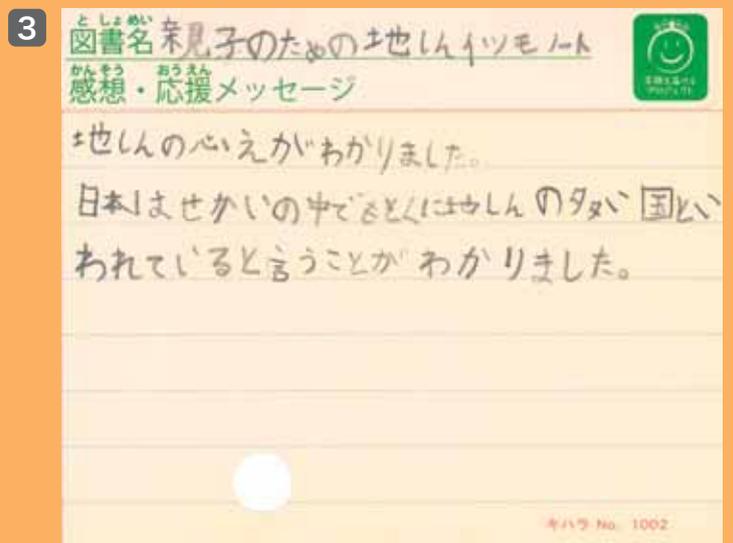
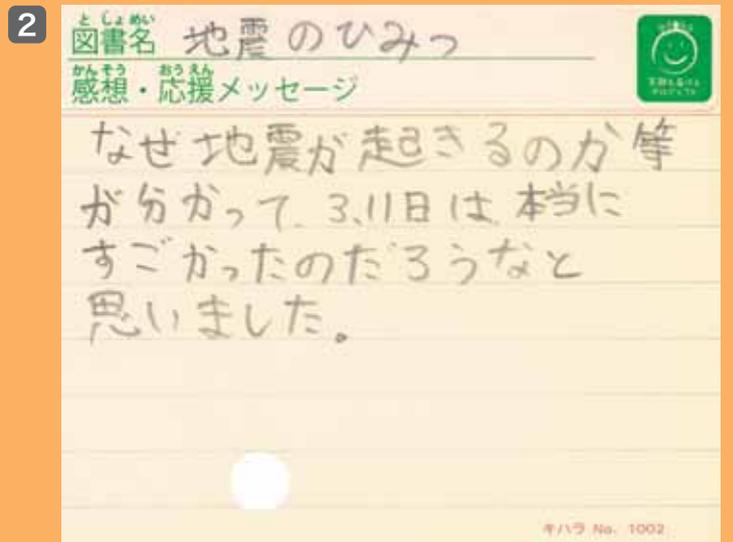
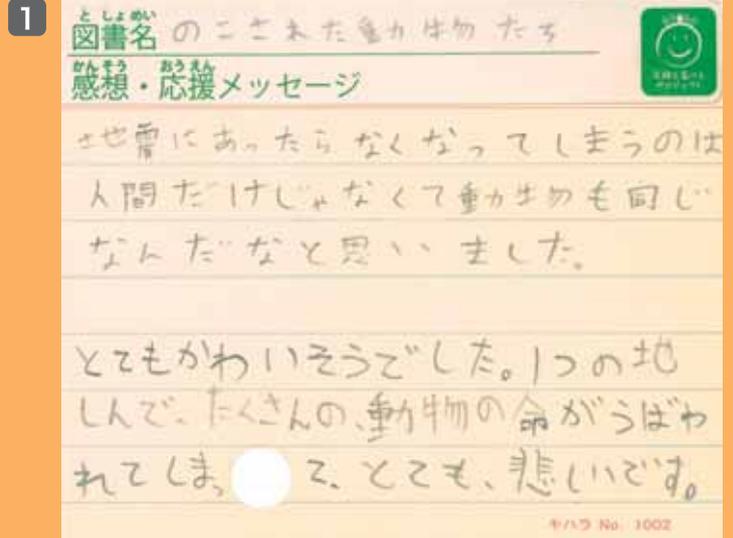


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：のこされた動物たち
著者：太田康介 出版社：飛鳥新社
- 2 書名：地震のひみつ
著者：翠川三郎 出版社：学研教育出版
- 3 書名：親子のための地震イツモノート
著者：寄藤文平 出版社：ポプラ社

「地震の多い国日本」を改めて意識し、「3.11は本当に凄かったのだから」と思いやる姿が見えました。そして亡くなった動物たちの命にも想いを巡らす姿がいじらしく感じます。

選者代表 齋藤 紀子



北杜市立高根東小学校

所在地：山梨県北杜市高根町村山北割 1035

書籍セット：A セット

開催期間：2016/11/15～2017/1/20



メッセージカード書籍データ

- 1 書名：災害救助犬レイラ
著者：井上こみち 出版社：講談社
- 2 書名：命を守る防災サバイバル BOOK
著者：BE-PAL 編集部 出版社：小学館
- 3 書名：4コマですぐわかるみんなの防災ハンドブック
著者：草野かおる 出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

考えただけでも恐ろしい大地震、この恐怖を乗り越えた人々がいました。これから辛いことがあっても「この本を思い出して生きのびたい」という気持ちを忘れずにいて欲しいです。

選者代表 齋藤 紀子

1 函書名 災害救助犬レイラ
感想・応援メッセージ
とつぜんおそった災害が、もし私がい
る場所におこっていたら、どんな
状態よか。考えるだけでおそろ
しいです。みなさんはその状態よ
まのあたりにし、きょうふ、をのりこえて
今日までがんばってきたのですね。そん
なみなさんが安心できるよう
な町になるようにがんばります

2 函書名 命を守る防災サバイバル
感想・応援メッセージ
私は震災のテレビを見ると、いつも
心がいたみます。私がこの場所
にいたらどんな気持ちだろう
と、想像してもしきれません。でも
みなさんが復興へとがんばっ
ている姿を見ると、「私も全力でが
んばらなま」と、エンジンがかかります。
ぜひ、あきらめないうちで一日一日を大切
に生きてください。
応援しています。

3 函書名 みんなの防災ハンドブック
感想・応援メッセージ
震災時の、返事難のしかたや、
寒さ対策、ためになる情報など
がくわしく、4コママンガに書かれ
ていて、とても勉強になりました。
もしたけと震災が起こった
時は、この本を思い出して、生きのびた
いです。東北地方のちや元頑張
ってください。

石狩市立聚富小中学校

所在地：北海道石狩市厚田区聚富 256-8

書籍セット：A セット

開催期間：2017/2/9～2017/3/15

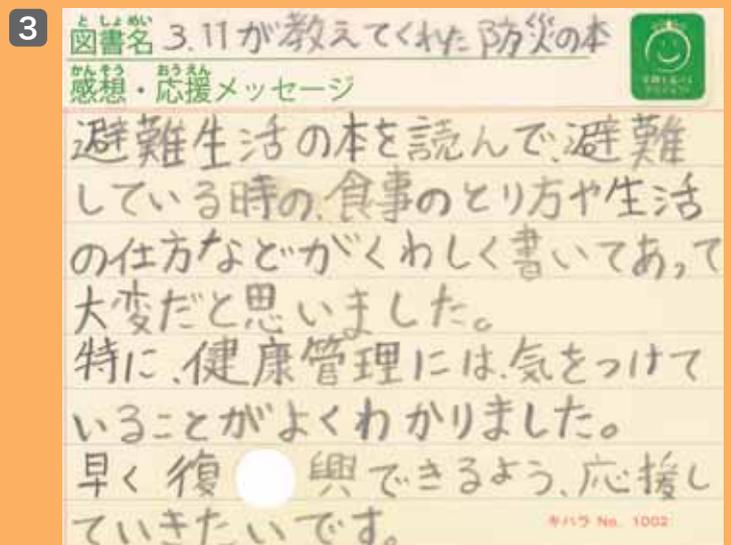
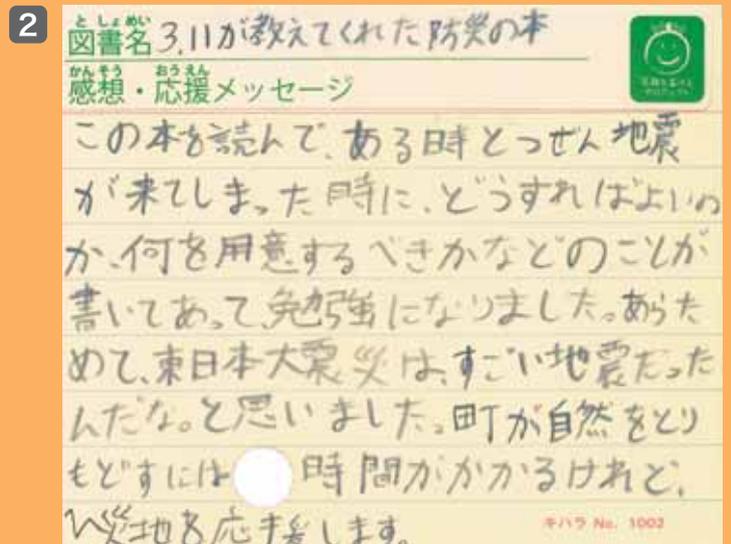
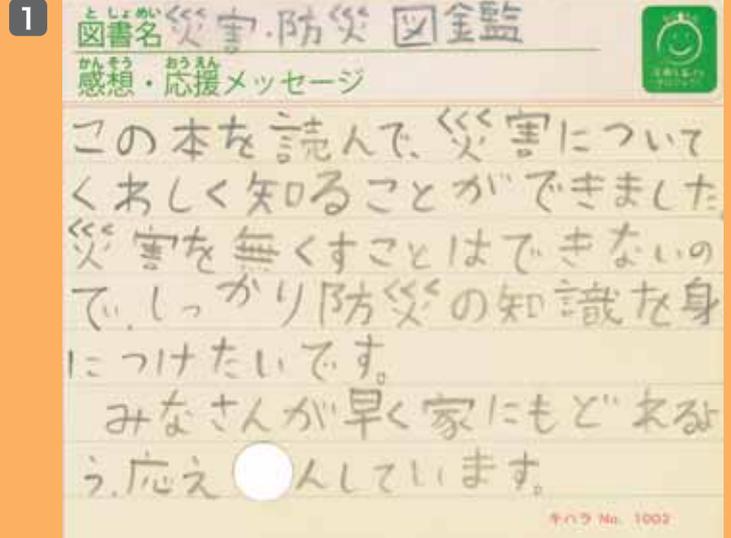


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：災害・防災図鑑
著者：環境防災総合政策研究機構 出版社：文溪堂
- 2 書名：3.11が教えてくれた防災の本／1(地震)
著者：片田敏孝 出版社：かがわ出版
- 3 書名：3.11が教えてくれた防災の本／2(津波)
著者：片田敏孝 出版社：かがわ出版

「災害は無くすことが出来ない」ことを理解したうえで、「しっかり防災の知識を身につけたい」と考える姿が立派です。

選者代表 齋藤 紀子



荒川区立南千住第二中学校

所在地：東京都荒川区南千住 7-25-1

書籍セット：C セット

開催期間：2015/10/26～2015/11/27



メッセージカード書籍データ

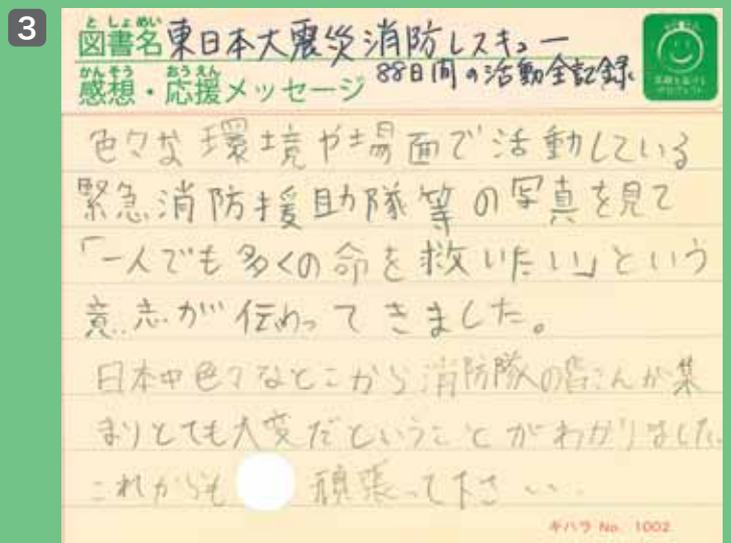
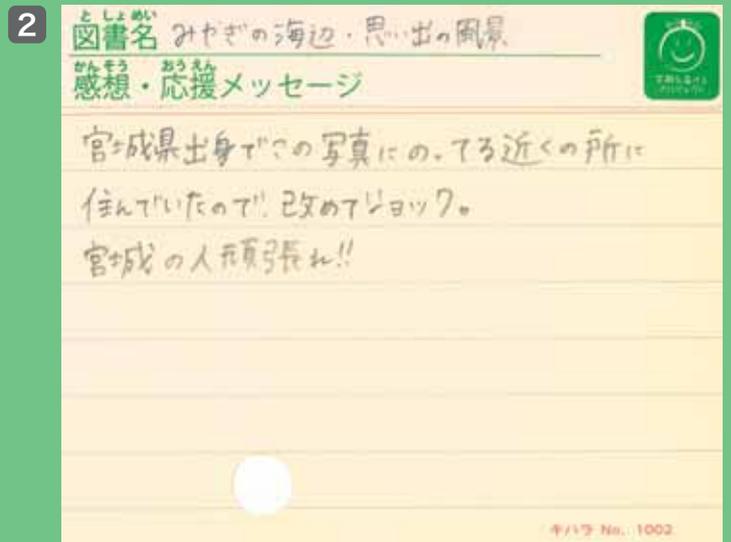
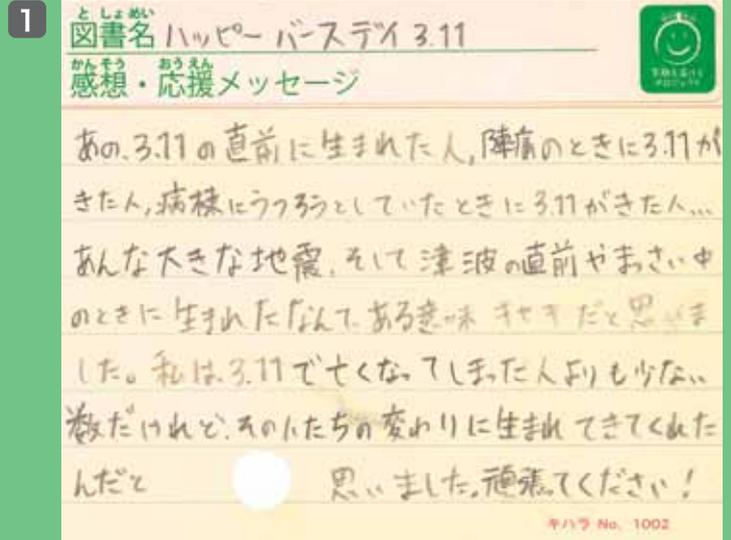
- 1 書名：ハッピーバースデー 3.11
著者：並河進 出版社：飛鳥新社

- 2 書名：みやぎの海辺思い出の風景
出版社：河北新報社

- 3 書名：東日本大震災消防レスキュー写真で見る
88日間の活動全記録 出版社：イカロス出版

かつて住んでいた地の、震災後の写真にショックを受け、心を痛めている生徒がいたようです。失った命の重さにも心を重くしているようですが、この想いを自身の糧にしていって欲しいと思います。

選者代表 齋藤 紀子



呉市立呉中央中学校

所在地：広島県呉市西中央 4-10-52

書籍セット：B セット

開催期間：2015/10/29～2015/11/30



メッセージカード書籍データ

- 1 書名：災害時ケータイ & ネット活用 BOOK
著者：西田宗千佳 出版社：朝日新聞出版
- 2 書名：首都直下地震にいますぐ備える本
著者：阿部慶一 出版社：河出書房新社
- 3 書名：きちんと逃げる。
著者：広瀬弘忠 出版社：アスペクト

いつ来るか分からない自然災害に備えるために何が
必要なのか、有効な活用方法を身につけたい、これ
からの減災・防災方法を学びたい、と自身に置き換
えて考える姿が立派です。

選者代表 齋藤 紀子

1 函書名 災害時ケータイ&ネット活用BOOK
感想・応援メッセージ

ネットやスマホを持っていても、災害時
にどのような使い方をしたらよいのか、
どのような使い方が有効なのか、わから
ない人は少ないのではないのでしょうか。
この本には、初心者でもわかりやすいよ
うにネットやSNSの使い方が書いてあり、
とてもため 〇 にりました。

キハラ No. 1002

2 函書名 首都直下地震にいますぐ備える本
感想・応援メッセージ

この本は、首都直下地震が発生したら
どのように対処するか、必要な物、注
意事項が書いてあります。もしも首都
直下地震が発生すると交通網はマヒし
て、日本経済はSTOPしてしまう。僕らの
地域でも使えるような知識がたくせん
あったの 〇 で、いざという時に活かし
たいです。

キハラ No. 1002

3 函書名 きちんと逃げる。
感想・応援メッセージ

この本を読んで、自然災害には
準備と訓練が大切なことが
わかった。災害が起きたときほと
にかく自分の命を大切にしないとい
いけないこともわかった。被災地
の皆さん、負けないで下さい。

キハラ No. 1003



周南市立周陽中学校

所在地：山口県周南市周陽 3-3-1

書籍セット：Dセット

開催期間：2016/5/16～2016/6/30

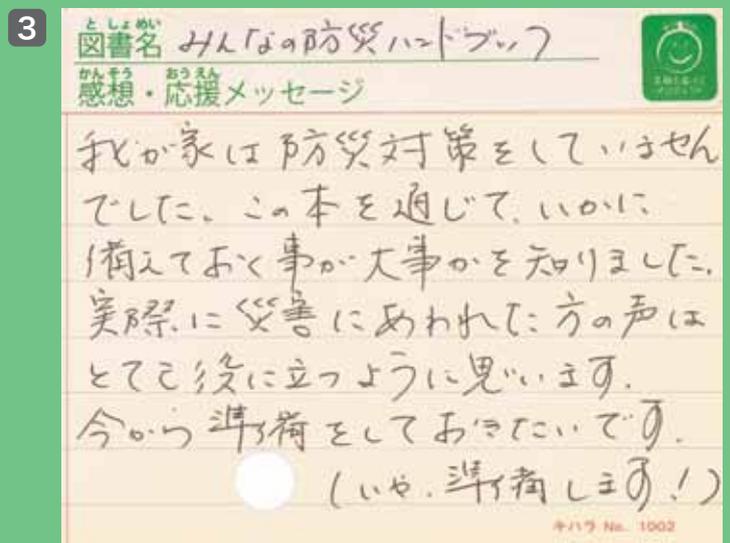
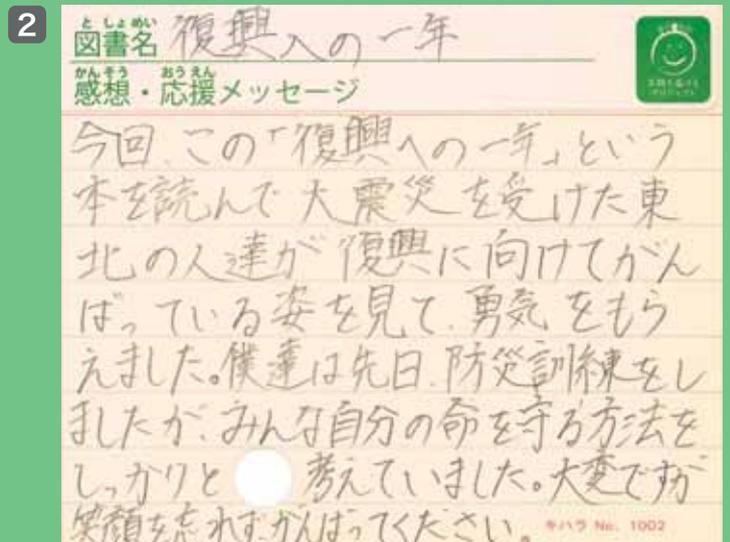
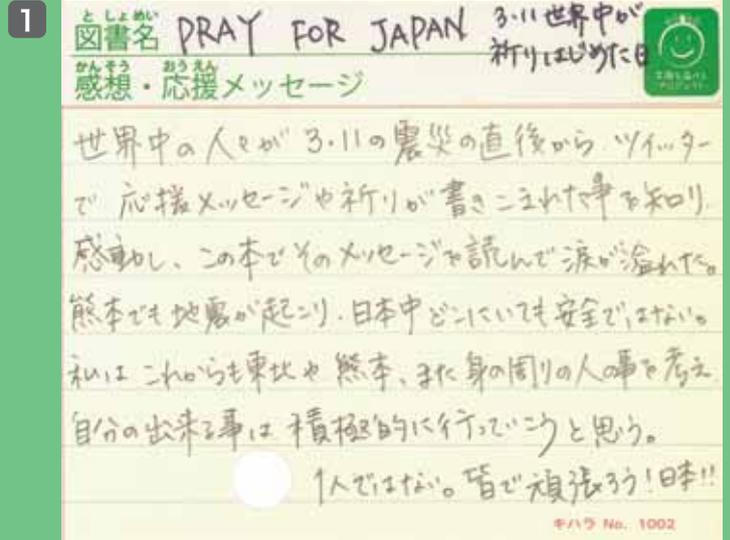


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：PRAY FOR JAPAN
著者：prayforjapan.jp(編) 出版社：講談社
- 2 書名：復興への一年 3.11 大震災・原発災害の記録 2
著者：橋本紘二 出版社：農村漁村文化協会
- 3 書名：4コマですぐわかるみんなの防災ハンドブック
著者：草野かおる 出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

防災訓練を実施し、自分の命を守る方法を皆で考えたそうですね。様々な資料で震災の実態にふれ、より現実的で実践的な訓練になったことと思います。

選者代表 齋藤 紀子



平群町立平群中学校

所在地：奈良県生駒郡平群町福貴 1301

書籍セット：Cセット

開催期間：2016/9/5～2016/10/21

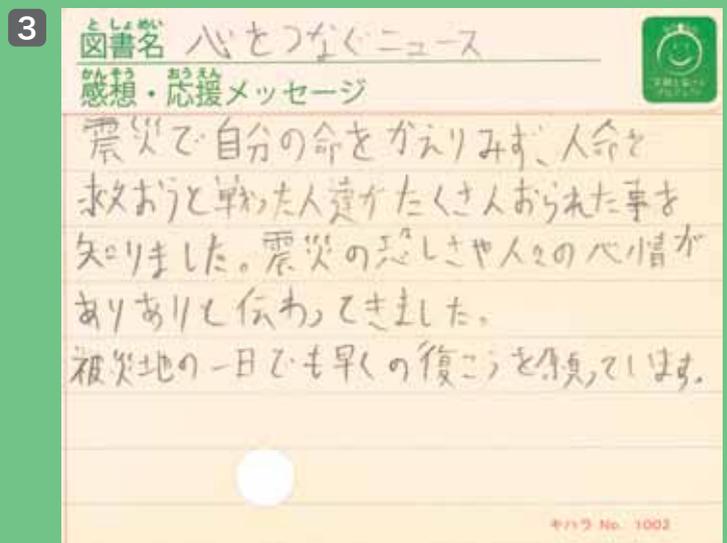
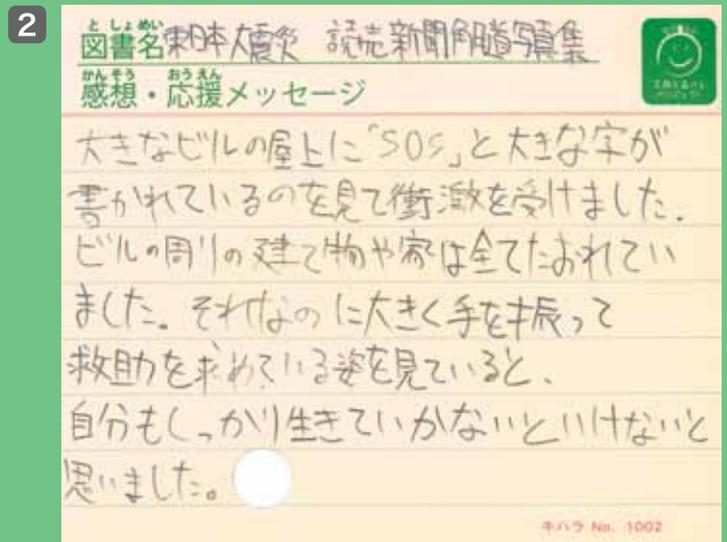
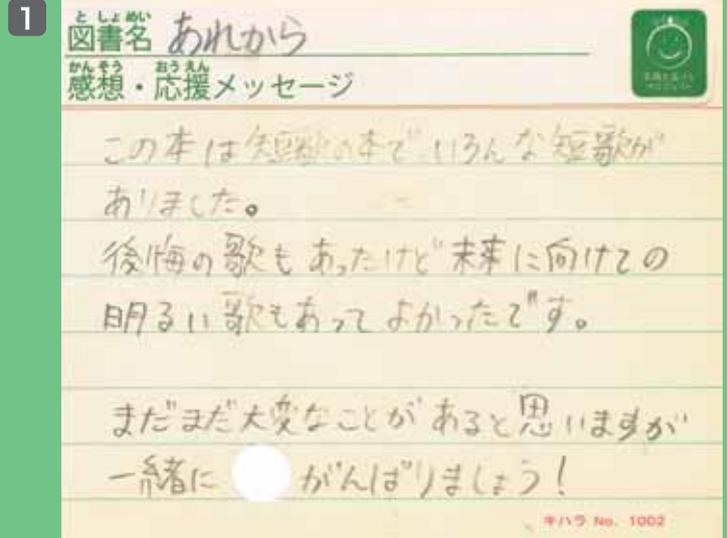


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：あれから
著者：俵万智 出版社：今人舎
- 2 書名：東日本大震災
出版社：読売新聞東京本社
- 3 書名：東日本大震災 心をつなぐニュース
著者：池上彰 出版社：文藝春秋

震災がいかに恐ろしかったか、命と向き合う事の厳しさを肌で感じた事で、これからも「しっかり生きていく」ことを覚悟してくれました。

選者代表 齋藤 紀子



桜井市立桜井東中学校

所在地：奈良県桜井市初瀬 1655

書籍セット：Cセット

開催期間：2016/11/1～2016/12/23

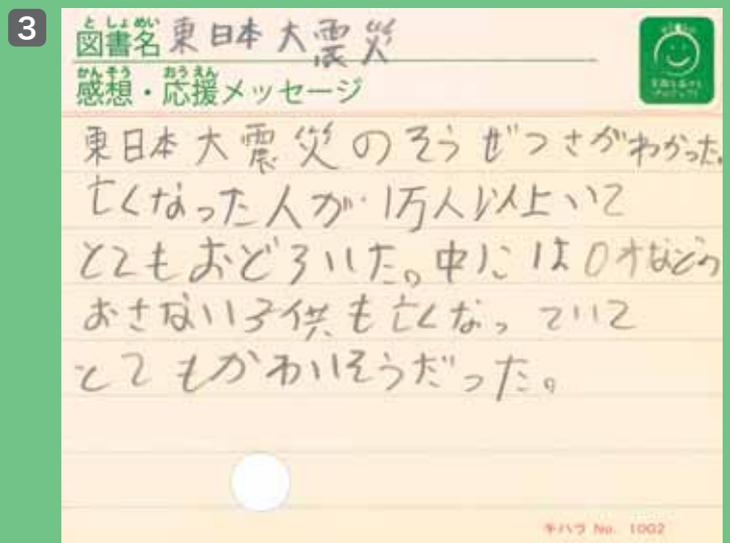
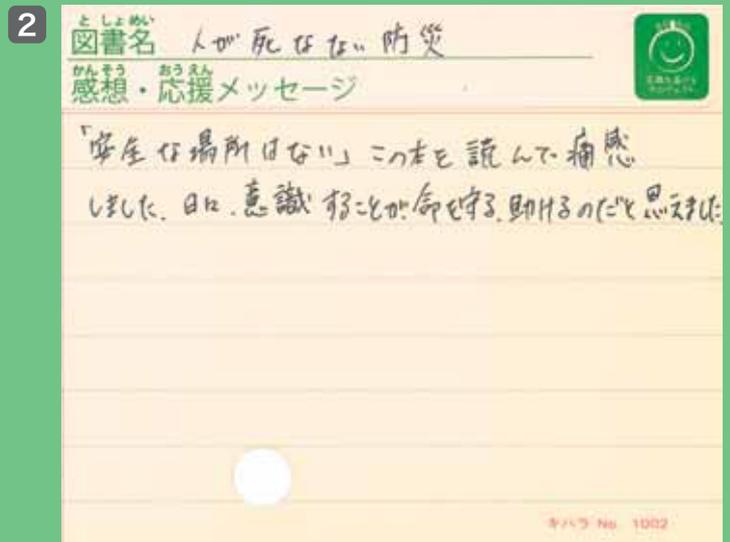
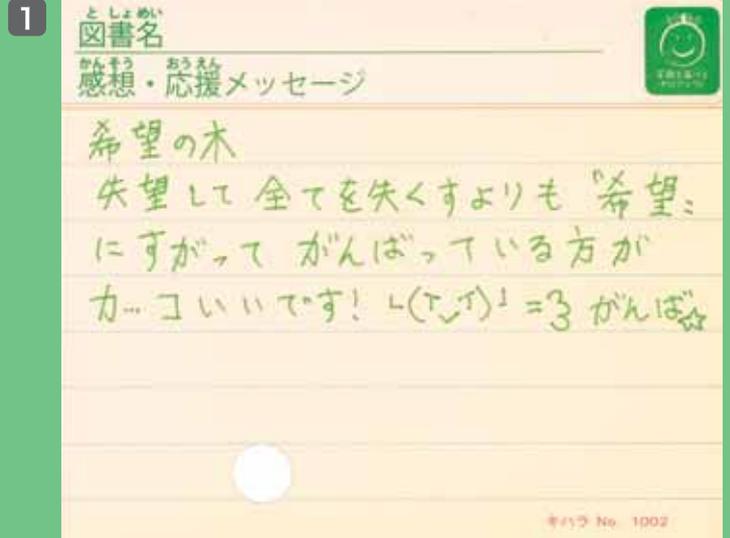


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：希望の木
著者：新井満 出版社：大和出版
- 2 書名：人が死なない防災
著者：片田敏孝 出版社：集英社
- 3 書名：東日本大震災
出版社：読売新聞東京本社

「安全な場所はない」ということを痛感し、生活の中で意識する事の大切さを実感してくれたと思います。

選者代表 齋藤 紀子



市川市立大洲中学校

所在地：千葉県市川市大洲 4-21-5

書籍セット：Bセット

開催期間：2017/2/27～2017/3/17



メッセージカード書籍データ

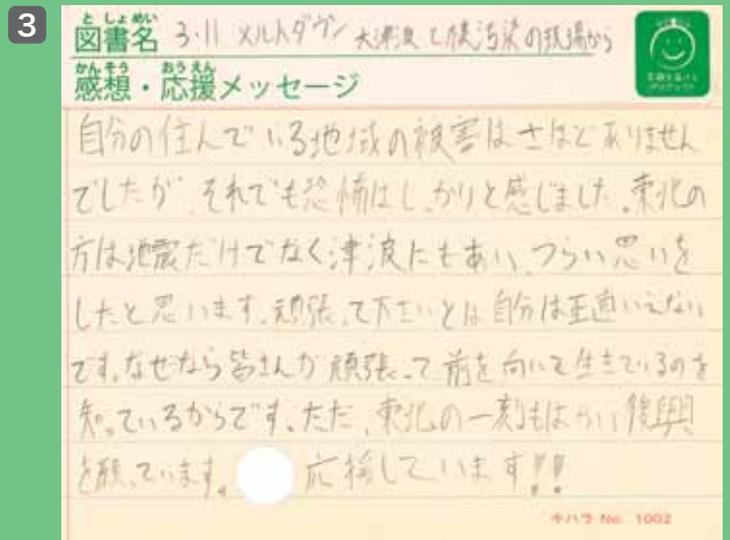
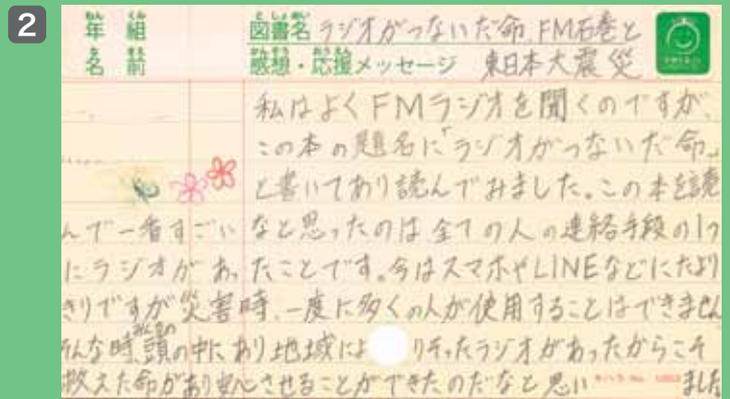
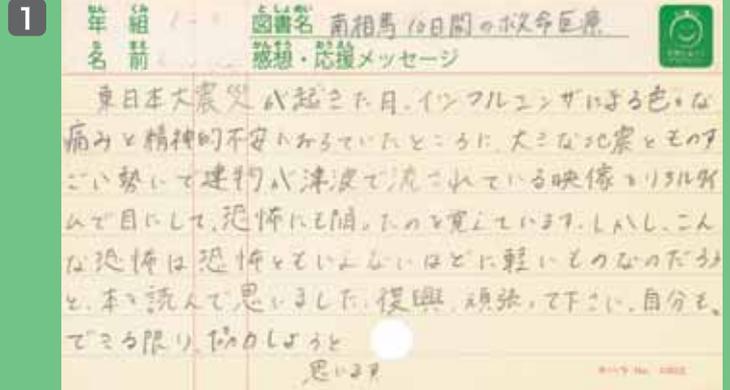
- 1 書名：南相馬 10 日間の救命医療
著者：太田圭祐 出版社：時事通信出版局

- 2 書名：ラジオがっないだ命
著者：鈴木孝也 出版社：河北新報出版センター

- 3 書名：3・11 メルトダウン
著者：日本ビジュアルジャーナリト協会 出版社：凱風社

被災地の様子を映像で見て、恐怖を感じたようですね。そこにいた人々の心情はいかばかりかを真剣に考えてくれたことと思います。遠く離れた自分たちとの受け止め方の違いがあることに気づけたことが大きな一歩です。

選者代表 齋藤 紀子



豊川市立代田中学校

所在地：愛知県豊川市代田町 1-20-1

書籍セット：B セット

開催期間：2017/4/26～2017/5/23



メッセージカード書籍データ

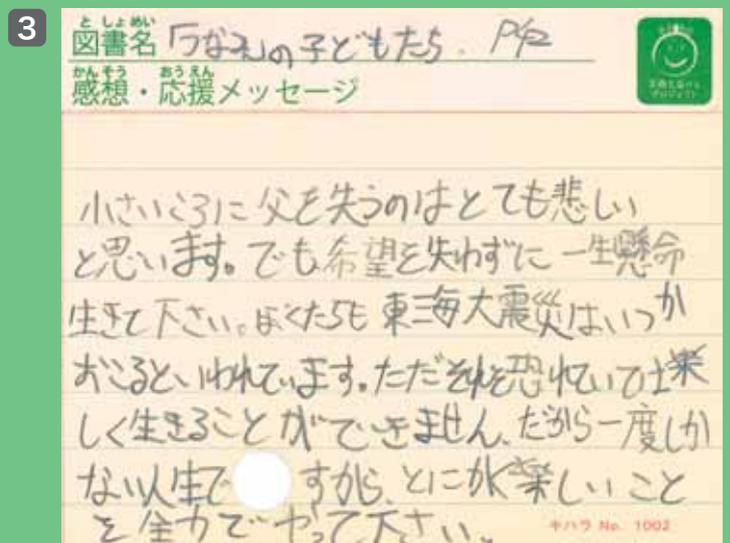
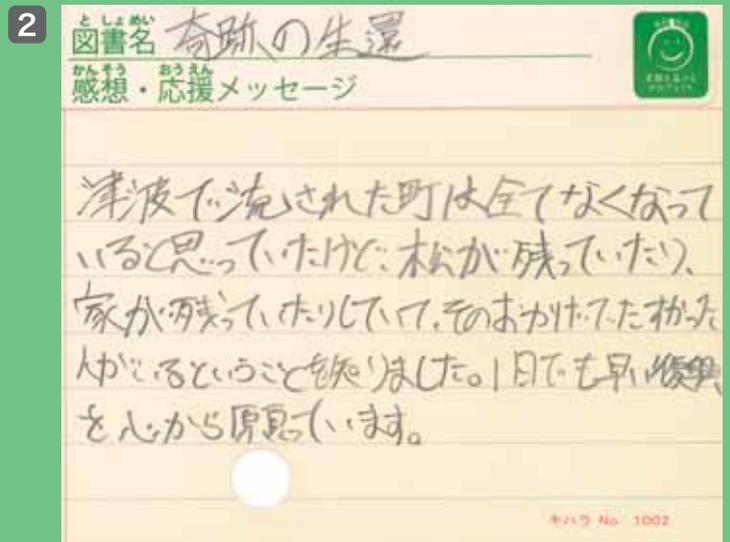
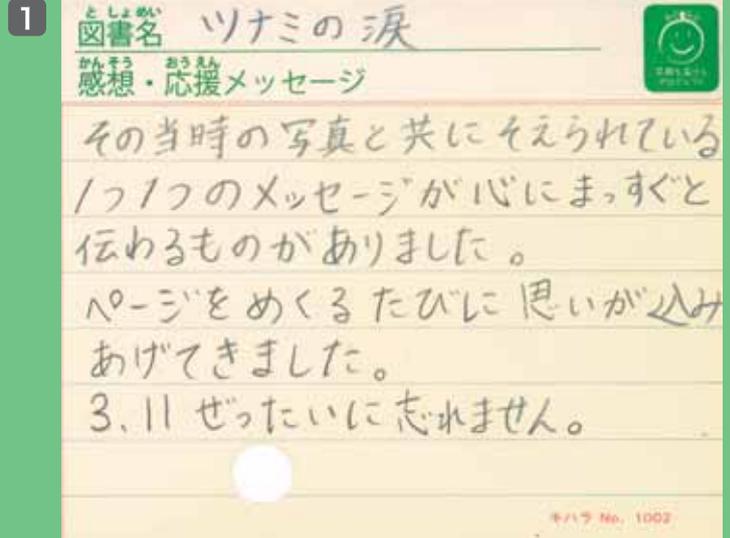
1 書名：写真集 ツナミの涙 -これからの僕たちへ-
著者：上田聡(写) 出版社：第三書館

2 書名：奇跡の生還
著者：上部和馬 出版社：コスモトゥーワン

3 書名：「つなみ」の子どもたち
著者：森健 出版社：文藝春秋

いつか「東海大地震」が起こると言われている地域に住む自分と、被災者の皆さんを重ね、いざという時、何をどうしたらいいのかを強く意識させられたようです。

選者代表 齋藤 紀子



昭和学院中学校・高等学校

所在地：千葉県市川市東菅野 2-17-1

書籍セット：B セット

開催期間：2015/6/17～2015/7/16



メッセージカード書籍データ

- 1 書名：語りつぎお話絵本3月11日／1(午後2時46分)
著者：WILL 出版社：学研教育出版

- 2 書名：「被災者目線」の復興論
著者：日野秀逸 出版社：新日本出版社

- 3 書名：宮城県気仙沼発！ファイト新聞
著者：ファイト新聞社 出版社：河出書房新社

「日常」が、ある日突然「非日常」となる事実を身に沁みて感じてくれたようです。学校の関心も高く、図書館でこの展示図書を利用した授業が、ほぼ全教科で実施されたことを素晴らしいと思います。

選者代表 齋藤 紀子

1

としまい
図書名 語りつぎ絵本1
感想・応援メッセージ

私は津波が来るぞというお話を言ったら、僕、死に命を守りながら生き残った人の苦しみも感動しました。津波が近づいていてみんなが死に逃げていて、困った人がいたら助け合い、決して自分のことだけに留まらず他の人のこと思いあえる人たちがとてもすごいと思います。私も困った人を助けられる人間になりたいです。

キハラ No. 1002

2

としまい
図書名 「被災者目線」の復興論
感想・応援メッセージ

私は、この本を読んで震災直後の、悲しい光景を知りました。またまた「復興や再建のできていない地域が多数残っている事」を知らずに、私たちは当たり前のように幸せな生活を4年間過ごしてきたんだと、とても実感しました。この本を読んだことで、どれだけ今でも苦しんでいる人がいるのか、改めて感じました。これから、いつも被災地の事を忘れずに、今の幸せな生活に感謝していきます。

3

としまい
図書名 宮城県気仙沼発！ファイト新聞
感想・応援メッセージ

東日本大震災から1週間後の3月18日で、また嬉しいことや悲しいこともあったと思うのは、新聞をかき初めてすごいなと思いました。

記事の中に、「水が使えるようになった」とか、「電気が使えるようになった」、「お風呂に入れるようになった」とかいてあって、私が生活して行く上で当たり前だと思っていたことが、改めてありがたいんだということに気づきました。

キハラ No. 1002



豊島岡女子学園

所在地：東京都豊島区東池袋 1-25-22

書籍セット：Cセット

開催期間：2015/7/10～2015/8/28

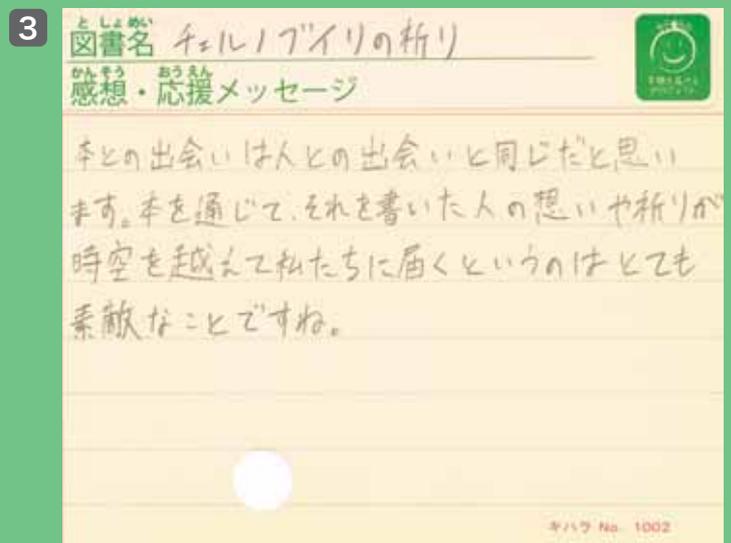
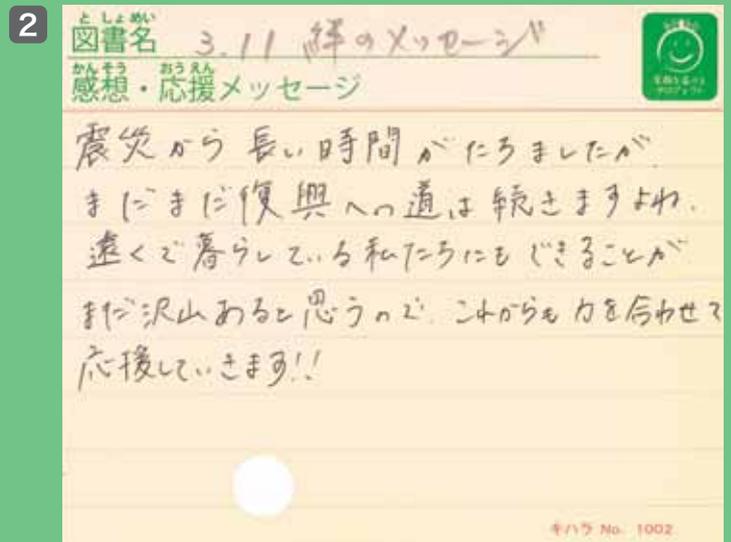
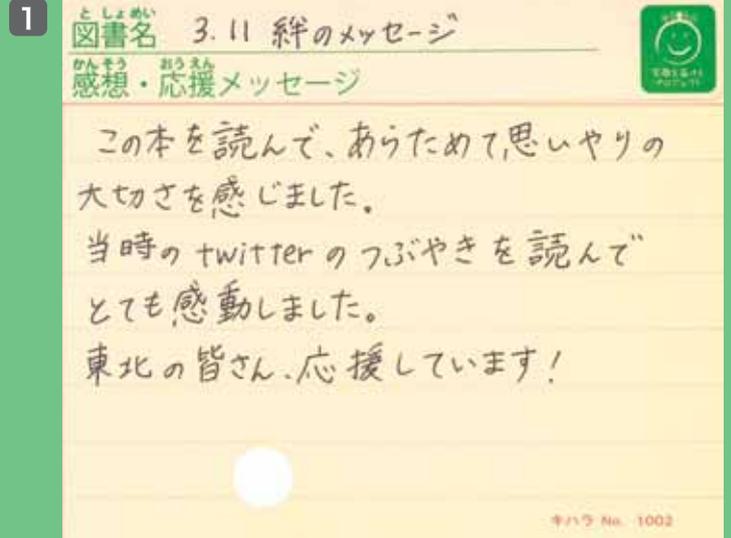


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：3.11 絆のメッセージ
著者：亀松太郎 出版社：東京書店
- 2 書名：3.11 絆のメッセージ
著者：亀松太郎 出版社：東京書店
- 3 書名：チェルノブイリの祈り
著者：Aleksievich Svetlana 出版社：岩波書店

「本を通じて、思いや祈りは時空を超えて届く」という感想を持ってくれました。豊島岡女子学園の皆さんの想いもきっと震災に遭われた人々に届くと思います。彼女たちの労わりに満ちた心を嬉しく思いました。

選者代表 齋藤 紀子



上智福岡中学高等学校

所在地：福岡県福岡市中央区輝国 1-10-10

書籍セット：Bセット

開催期間：2016/6/13～2016/7/15



メッセージカード書籍データ

- 1 書名：石巻赤十字病院の100日間
著者：由井りょう子 出版社：小学館

- 2 書名：いま福島で考える
著者：桜井勝延 出版社：桜井書店

- 3 書名：「あの日」に生まれてきた命
著者：鮫島浩二 出版社：アスペクト

震災の酷さを報道で知り、自分に何が出来るかを真剣に考えてくれました。あの日生まれた新しい命への母の愛を知って感動し、本から多くのことを学んでくれたと思います。

選者代表 齋藤 紀子

1 図書名 石巻赤十字病院の100日間
感想・応援メッセージ

病院で働いている人も、被災者なのに、必死で働いているという言葉を読んで、テレビや新聞で見ていると到底考えられないほど、切羽詰まっていたんだなと思いました。

九州に居る私には、東日本大震災がどれくらい大変だったか、テレビや新聞でしか分からないし東北に居る方々は私の想像を越えるくらい大変な思いをしていると思うけど、これからはぐり休んで、少しずつ、少しずつ歩いていってください!!

2 図書名 いま福島で考える
感想・応援メッセージ

この図書で過去の原発の被害や津波での被害、そして人の今の生活を知りました。

活字をみて全て取り除いてほしいかも、しれないけど、かえって下を、

3 図書名 「あの日」に生まれてきた命
感想・応援メッセージ

「あの日」に生まれてきた命を読んで私は今年、東北にボランティアに行きます。東北大震災関連の本を探していた時、この本を見つけました。この本を読んで私は改めて自分の立場で考えることは何かを考えさせられました。そして当時、お腹の中に新しい命を授けた母親の愛を感じ、とても感動しました。

この本から私は東北ボランティアの新たな目的を見つけました。まず私にできることは何か、私だけでは到底無力だとは思いますが、今回一緒に行く仲間と共に助け合いたいと思います。そして私は震災の中子供を守り続けた強い母親の話をもっと聞きたかったです。不安だらけの中、強い絆でお母さん達から学ぶことは多かったです。「人は必ず助け合っていて、助け合い、愛し合う」

今回の東北ボランティアに行く上で、この言葉を胸にとめて、東北大震災と向き合いたい。

工学院大学附属中学校・ 高等学校

所在地：東京都八王子市中野町 2647-2

書籍セット：Bセット

開催期間：2016/10/6～2016/12/20

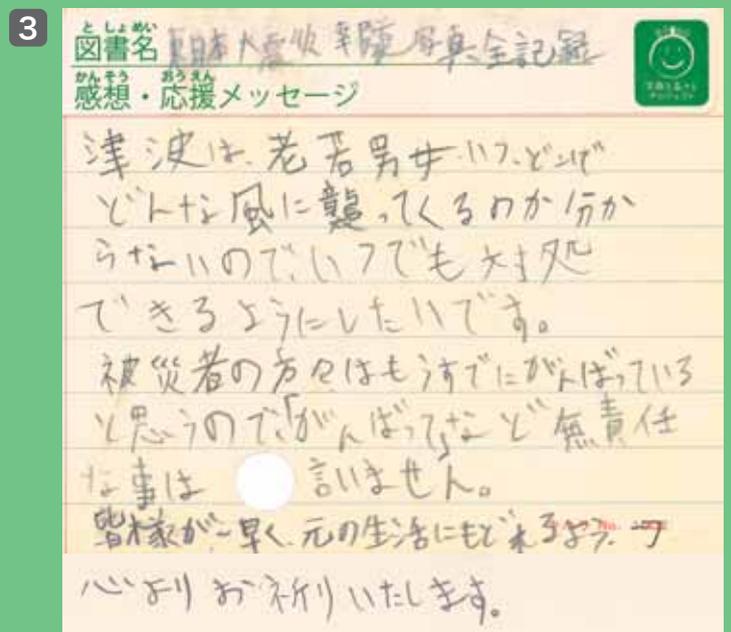
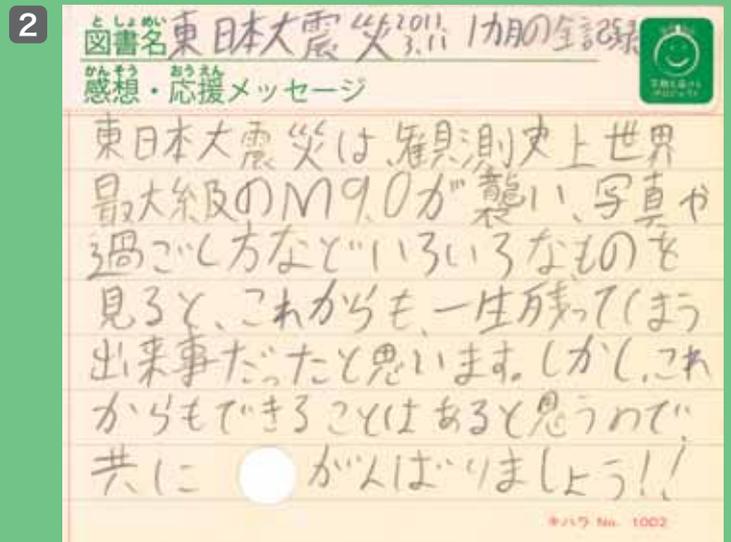
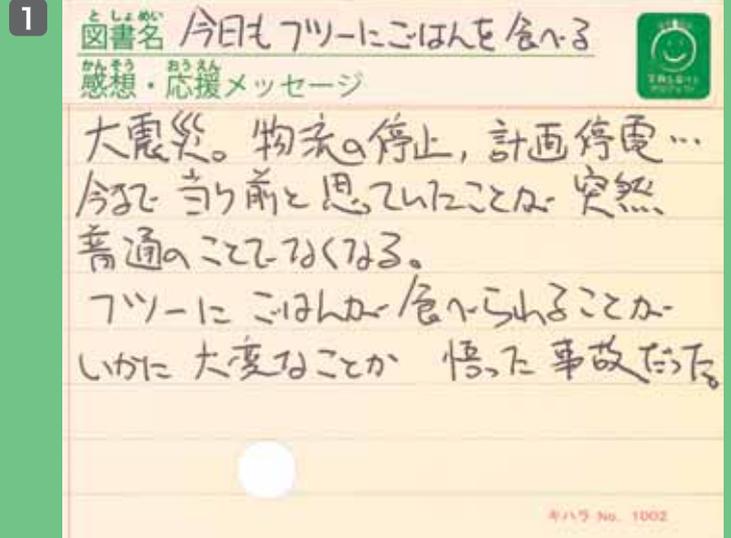


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：今日もフツーにごはんを食べる
著者：枝元なほみ 出版社：芸術新聞社
- 2 書名：東日本大震災 2011.3.11
特別報道写真集 1カ月の全記録
出版社：京都新聞出版センター
- 3 書名：東日本大震災全記録
出版社：河北新報社

突然、これまでの普通のこと普通でなくなるこの大変さを実感してくれました。そこに生きる人は既に頑張っていることを知っているので、「頑張っなど無責任なことは言いません」という一文が考えさせられます。

選者代表 齋藤 紀子



柏市立柏高等学校

所在地：千葉県柏市船戸山高野 325-1

書籍セット：Bセット

開催期間：2016/4/22～2016/6/6

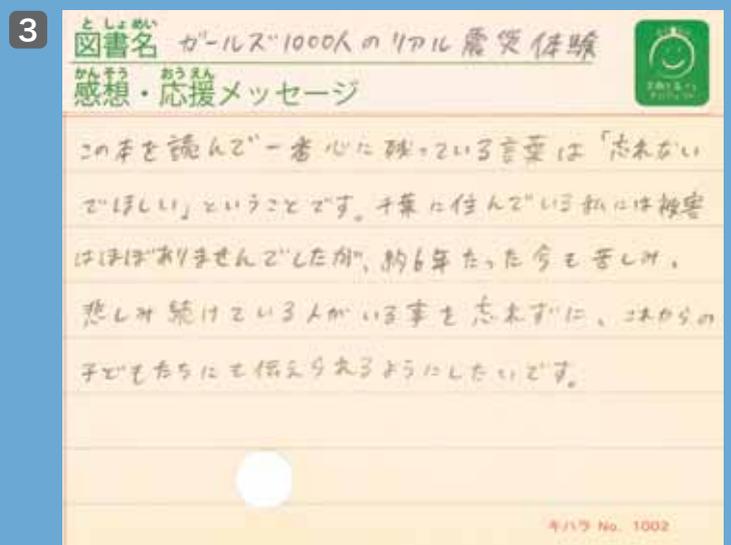
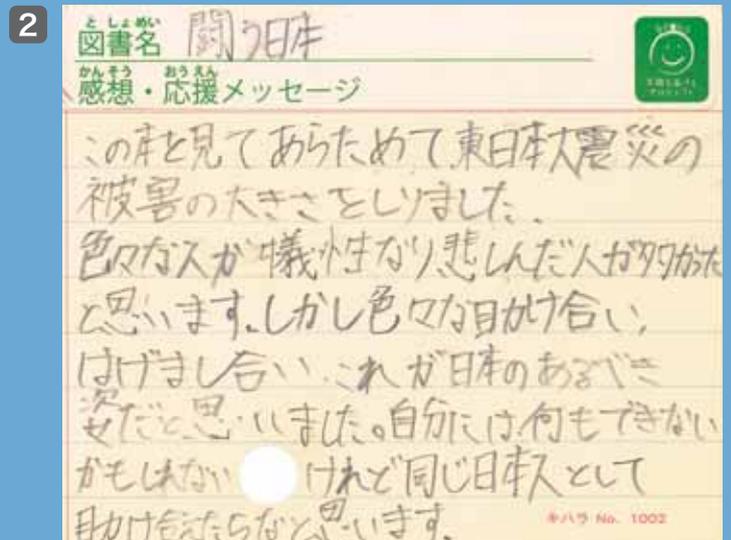
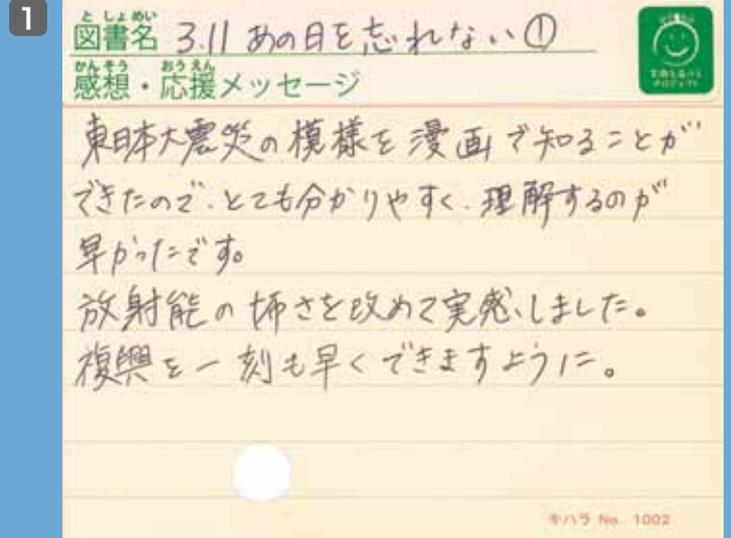


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：3.11 あの日を忘れない①
著者：石塚夢見 出版社：秋田書店
- 2 書名：闘う日本
著者：産業経済新聞社 出版社：産経新聞出版
- 3 書名：ガールズ 1000 人のリアル震災体験
著者：魔法のiらんど 出版社：アスキー・メディアワークス

被災者の方の「忘れないでほしい」という言葉に胸が突かれたようです。今も癒えることのない苦しみ、悲しみの中に人々がいることを知ったことと思います。自身に何が出来るかを考えていってほしいです。

選者代表 齋藤 紀子



東京学芸大学附属高等学校

所在地：東京都世田谷区下馬 4-1-5

書籍セット：Cセット

開催期間：2016/6/6～2016/7/22



メッセージカード書籍データ

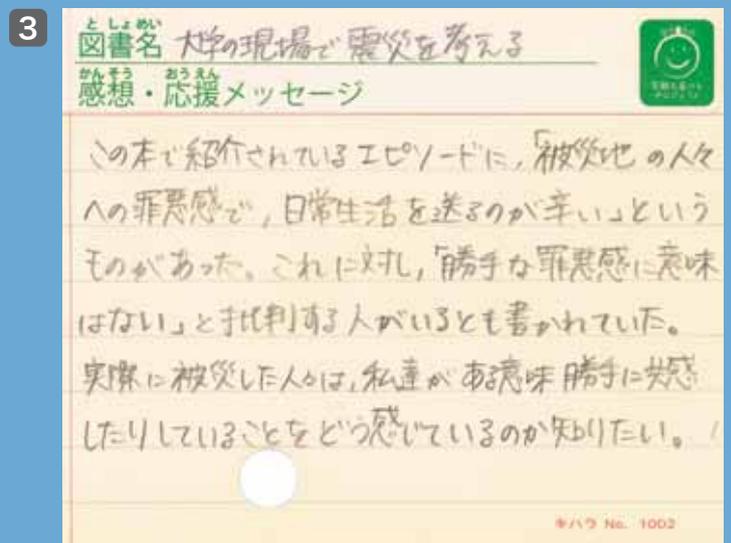
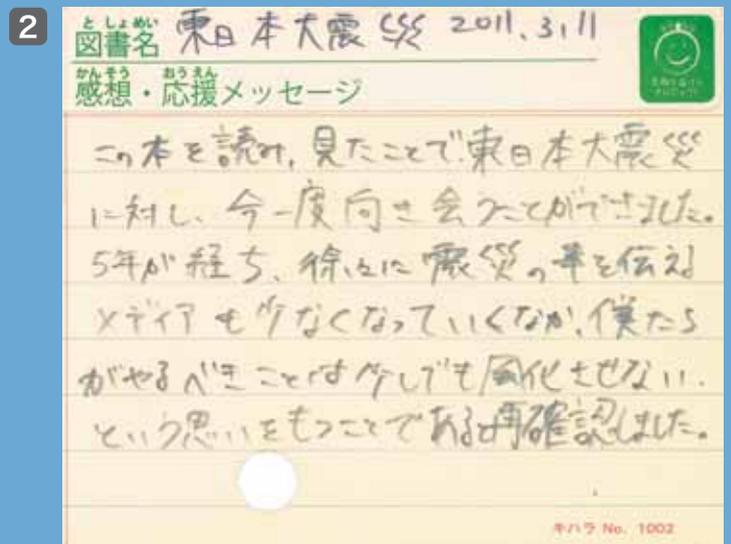
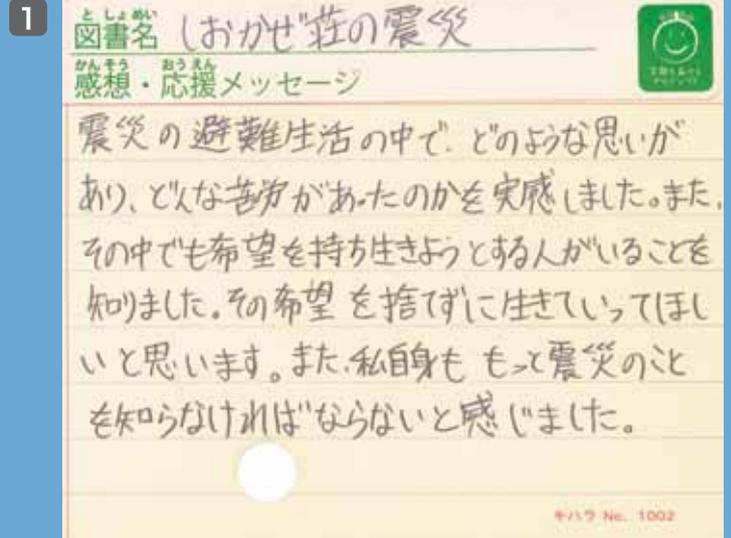
- ① 書名：しおかぜ荘の震災
著者：木村航 出版社：双葉社

- ② 書名：東日本大震災 2011.3.11
特別報道写真集 1カ月の全記録
出版社：京都新聞出版センター

- ③ 書名：大学の現場で震災を考える
著者：三野博司 出版社：かがわ出版

被災者の胸のうちを思いながら、同時に「ある意味勝手に共感している」ことへも考えを及ぼしている点が素晴らしいと思いました。被災地の皆さんはどう思われているのでしょうか。また自分の心の中で風化させないことの大事さを認識してくれています。

選者代表 齋藤 紀子



京都府立久美浜高等学校

所在地：京都府京丹後市久美浜町橋爪 65

書籍セット：Dセット

開催期間：2016/9/1～2016/10/11

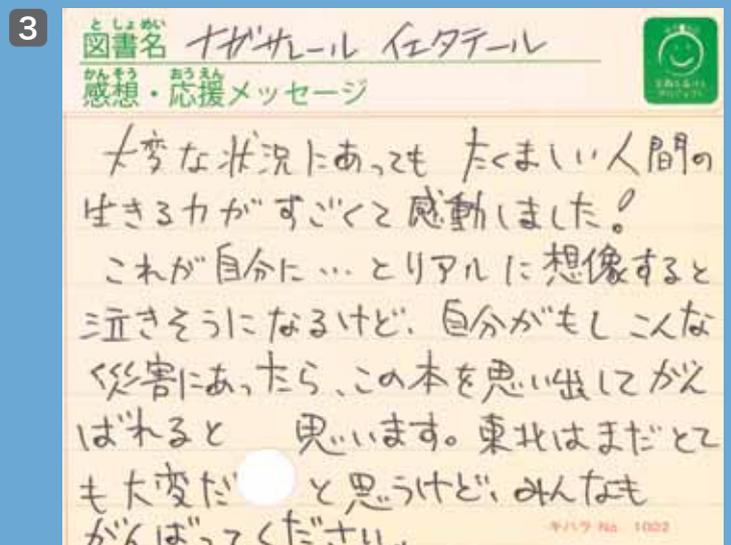
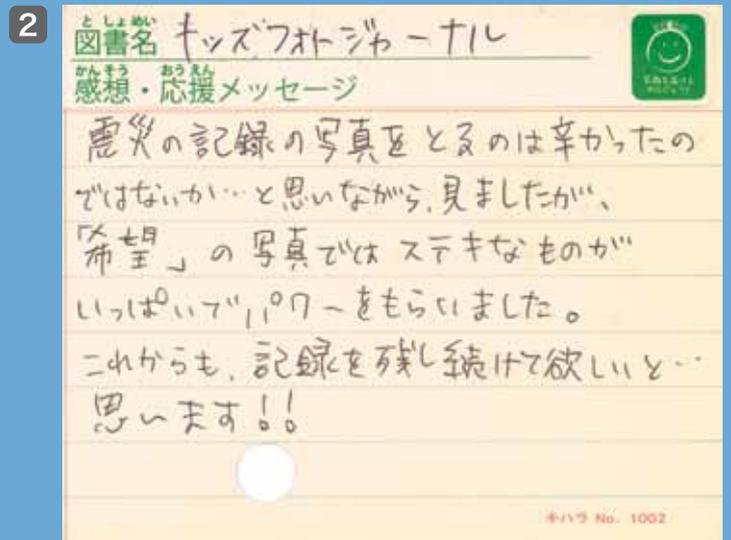
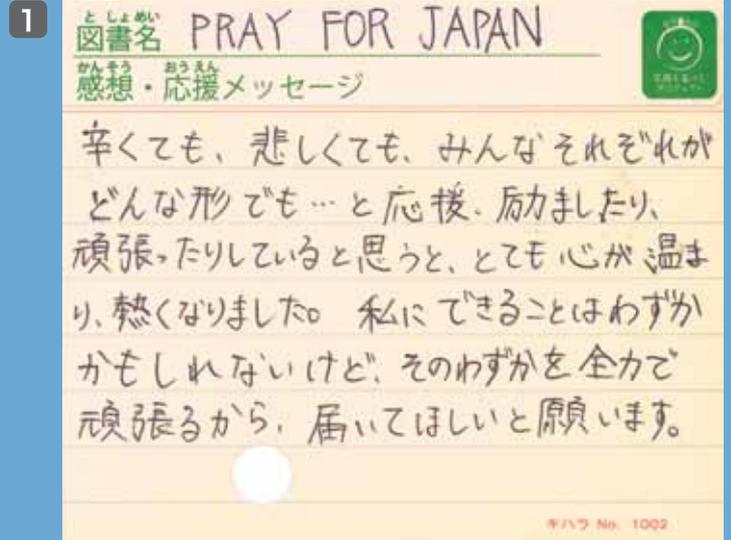


メッセージカード書籍データ

- 1 書名：PRAY FOR JAPAN
著者：prayforjapan.jp(編) 出版社：講談社
- 2 書名：3/11 キッズフォトジャーナル
著者：3/11 Kids Photo Journal(編) 出版社：講談社
- 3 書名：ナガサレール イエタテール
著者：ニコ・ニコルソン 出版社：太田出版

自身が収集した資料も併せて展示し、「この震災で何が起こったのかを伝えたい」という司書の願いが生徒にも通じたと思います。生徒は心を込めて資料と向き合ってくれたと感じました。

選者代表 齋藤 紀子



武蔵野大学附属 千代田高等学院

所在地：東京都千代田区四番町 11

書籍セット：①Bセット ②Cセット ③Cセット

開催期間：①2017/1/18～2017/3/14

②2017/6/1～2017/6/30

③2017/9/1～2017/9/30



メッセージカード書籍データ

① 書名：いま原発で何が起きているのか
出版社：河北新報出版センター

② 書名：語り継ぎたい。命の尊さ／新版
著者：住田功一 出版社：学びリンク

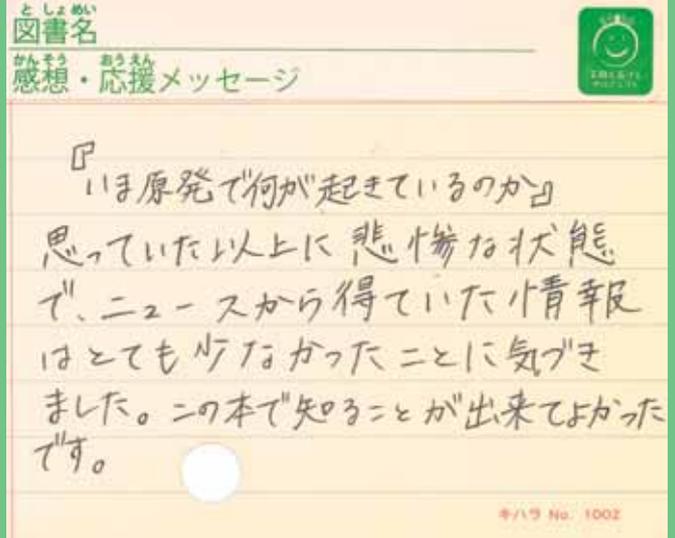
書名：心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師

③ 著者：今西乃子 出版社：金の星社

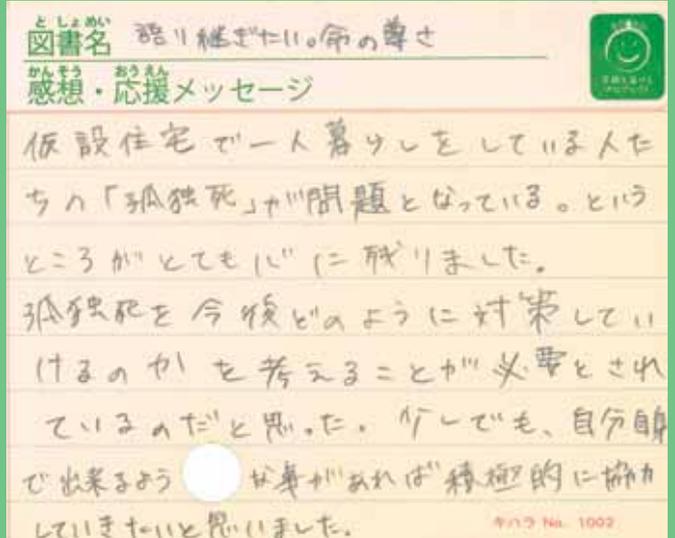
報道から得られる情報はとても少ないものです。「悲しくても、つらくても泣けない」こともあるのだ、と知ったことはこれからの人生に生きてくると思います。

選者代表 齋藤 紀子

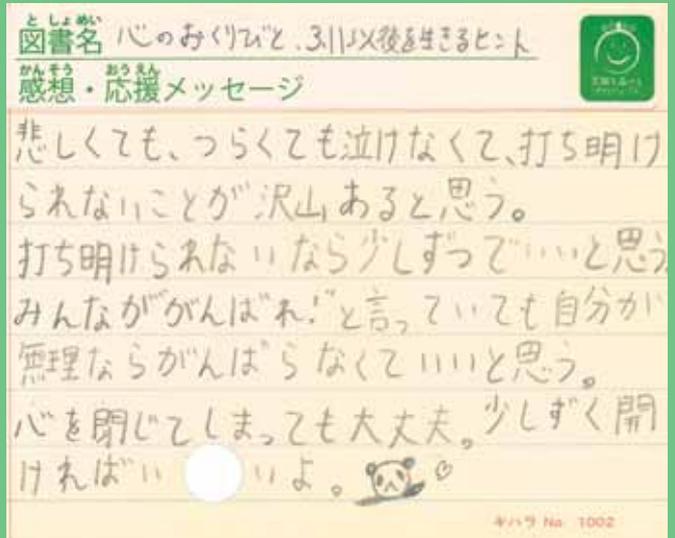
1



2



3



千葉県立鎌ヶ谷高等学校

所在地：千葉県鎌ヶ谷市東道野辺 1-4-1

書籍セット：Bセット

開催期間：2017/6/1～2017/6/30



メッセージカード書籍データ

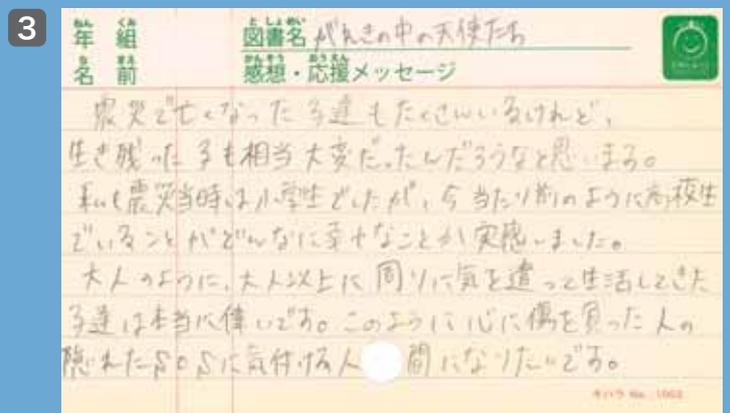
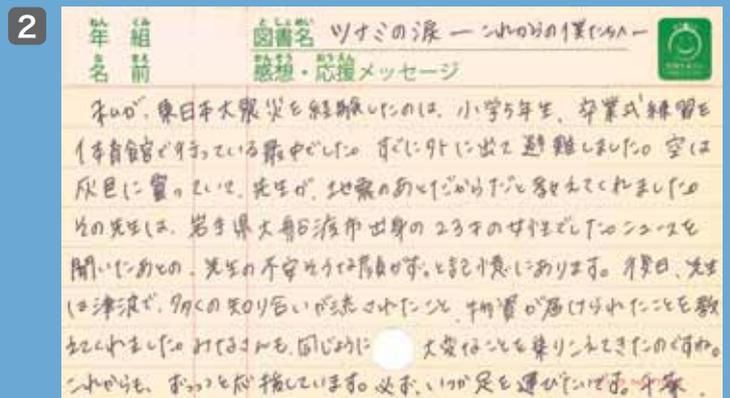
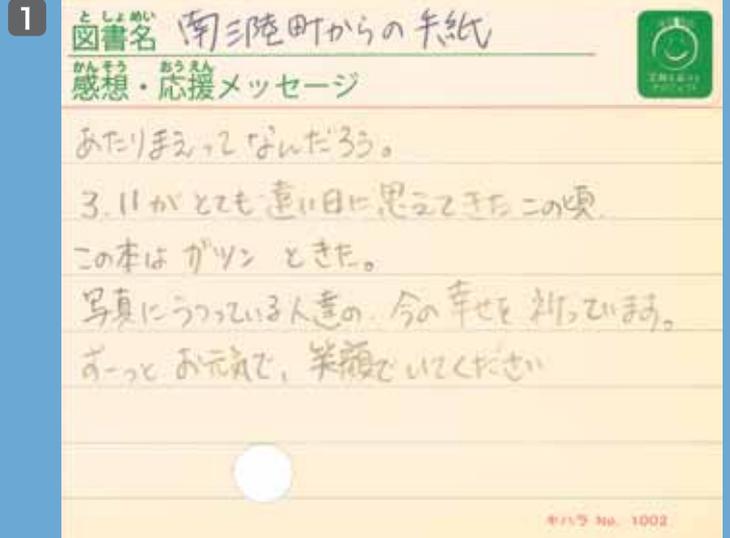
- 1 書名：南三陸町からの手紙
著者：野寺治孝 出版社：栄久堂

- 2 書名：写真集 ツナミの涙 -これからの僕たちへ-
著者：上田聡(写) 出版社：第三書館

- 3 書名：がれきの中の天使たち
著者：椎名篤子 出版社：集英社

3.11が遠い日になってきた頃、本で見た震災の様子に強いショックを受けたようですね。考え続けることの大切さに気付いてくれたことが良かったです。

選者代表 齋藤 紀子





笑顔をお届けするプロジェクト in school library

本を通じて東北とつながりませんか？

参加していただける学校図書館を募集しています。

東日本大震災以降、地震、噴火などの自然災害が後を絶ちません。学校では防災や自然災害に関する授業などが盛んに行われていますが、図書室には関連する資料がほとんどないのが現状です。今回、そうした状況の学校図書館において、未来を担う子どもたちに東日本大震災でなにがあったのかを広く伝えていくことは大切な使命であると捉え「笑顔をお届けするプロジェクト in school library」をキハラ被災地支援活動として企画いたしました。この活動によって、遠く離れた地域に住む同世代の友達から応援メッセージを受け取った被災地の子どもたちが、勇気づけられ笑顔を取り戻すことを願っています。

学校図書館を対象に、選書した東日本大震災関連の本150冊とブックトラック2台を貸し出します。閲覧はもちろんテーマ学習、調べ学習などの授業と連携して活用していただけます。その際、本に装備されている読書応援カードに、本を読んだ子どもたちに応援メッセージを記入してもらいます。読書応援カードは次の開催校へとつながり、最終的に東北の子どもたちへ届けられます。

笑顔ブックトラック セット一式



東北の図書館 子どもたち

東北との交流

- ・つながる読書応援カード
- ・読書による他県の学校との交流
- ・子どもたちのきずな



学校授業に活かす

- ・東日本大震災本の特別閲覧
- ・テーマ学習、調べ学習などの授業利用
- ・ブックトークなどのイベント利用



子どもたち

学校 図書館

東北を応援！

- ・授業や読書を通して、震災について学習
- ・読書応援カードによる東北へのメッセージ
- ・東日本大震災の再認識



貸出品 ブックトラック2台・サイン1式・本150冊(リスト付属) ※資料内容は小学校用、中学校・高等学校用がございます。

貸出期間 1ヵ月程度を予定しています。(※期間・開始日についてはキハラ担当とご相談ください。)

開催中の運用 ・運用方法は各校にお任せします。館内閲覧のほか、調べ学習、テーマ学習、休み中の課題・宿題などに活用いただけます。
・本の見返し部分の読書応援カードに氏名・応援メッセージを書いてもらいます。

貸出品の設営・撤収 ・各地域の営業担当が車で持参して、設営及び撤収を行います。…ブックトラック、本・サインの設置など。

お申し込み・問い合わせ先

キハラホームページにてお申し込みいただけます。

フォームに必要な内容をご記入ください。

後日、キハラのプロジェクト担当よりご連絡させていただきます。

※応募多数の場合、ご希望にそえないこともございます。ご了承ください。

<http://www.kihara-lib.co.jp>

防災教育に
ご活用ください



笑顔をお届けするプロジェクト in school library



笑顔
ブックトラックセット
をお届けしました！

市川学園
市川中学校・高等学校様



ポスターや選書リスト、バーコードカードも！

笑顔をお届けするプロジェクト in School 第一弾として、市川学園市川中学校・高等学校第三教育センターに笑顔ブックトラックセットをお届けしました。

エントランスを入ってすぐのところに、展示コーナーポスターや選書リストなどの事前に準備してあってびっくりしました。また本の貸出もするそうで、それぞれのバーコードカードまで用意してありました。

図書館内での閲覧のほか、貸出、授業での活用にも利用いただけるとのことでした。



ご参加いただいた図書館様

昭和学院中学高等学校様



呉市立中央中学校様



名古屋市立戸笠小学校様



立教女学院小学校様



豊島岡女子学園様



東御市立滋野小学校様

九重町立南山田小学校様

北杜市立高根東小学校様

石狩市聚富小中学校様

荒川区立南千住第二中学校様

千葉県立我孫子東高等学校様

柏市立柏高等学校様

周南市立周陽中学校様

東京学芸大学附属高等学校様

上智福岡中学高等学校様

武蔵野大学附属千代田高等学院様

平群町立平群中学校様

京都府立久美浜高等学校様

工学院大学附属中学校様

桜井市立桜井東中学校様

市川市立大洲中学校様

豊川市立代田中学校様

千葉県立鎌ヶ谷高等学校様



書籍セット一覧

Aセット(小学校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
1	いきているひかり	Bang Molly	評論社
2	ハナミズキのみち	浅沼ミキ子	金の星社
3	松の子ビノ	北門笙	小学館
4	かあさんのこもりうた	こんのひとみ	金の星社
5	みえないばくだん	たかはしよしこ	小学館
6	True Feelings	初沢亜利	三栄書房
7	奇跡の一本松	なかだえり	汐文社
8	東北んめえもののうた	長谷川義史	佼成出版社
9	あのひのこと = Remember March 11, 2011	葉祥明	佼成出版社
10	風の島へようこそ	Drummond Allan	福音館書店
11	つなみ	田畑ヨシ	産経新聞出版
12	72時間生きぬくための101の方法	なつみどり	童心社
13	知ろう! 防ごう! 自然災害/1(地震・津波・火山噴火)/増補改訂版	佐藤隆雄	岩崎書店
14	災害・防災図鑑	環境防災総合政策研究機構	文溪堂
15	はしれ、上へ!	指田和子	ポプラ社
16	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第1巻(その日)		学研教育出版
17	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第2巻(明けない夜はない)		学研教育出版
18	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第3巻(生きることを、生きるために)		学研教育出版
19	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第4巻(助け合うこと)		学研教育出版
20	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第5巻(放射能との格闘)		学研教育出版
21	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第6巻(絆)		学研教育出版
22	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第7巻(希望をつむぐ)		学研教育出版
23	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第8巻(広がりゆく支援の輪)		学研教育出版
24	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第9巻(再生と復興に向かって)		学研教育出版
25	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第10巻(未来へ)		学研教育出版
26	語りつぎお話絵本3月11日/8(ふるさとをとりもどす!)	WILL	学研教育出版
27	語りつぎお話絵本3月11日/7(広がる支援の輪)	WILL	学研教育出版
28	語りつぎお話絵本3月11日/6(助け合う人たち)	WILL	学研教育出版
29	語りつぎお話絵本3月11日/5(子どもたちの「ちから」)	WILL	学研教育出版
30	語りつぎお話絵本3月11日/4(支え合ったひなん所)	WILL	学研教育出版
31	語りつぎお話絵本3月11日/3(家族と会えた)	WILL	学研教育出版
32	語りつぎお話絵本3月11日/2(にげる! 津波だ!)	WILL	学研教育出版
33	語りつぎお話絵本3月11日/1(午後2時46分)	WILL	学研教育出版
34	ボランティア奮闘記	日本財団	木楽舎
35	3・11あの日のこと、あの日からのこと	鎌田雅子	かもがわ出版
36	尾木ママと考える大震災後を生きる希望のヒント	尾木直樹	金曜日
37	ヒーローズ・カムバック	細野不二彦	小学館
38	3・11生みの苦しみによりそって	高垣忠一郎	かもがわ出版
39	特別授業3.11 君たちはどう生きるか	あさのあつこ	河出書房新社
40	こうすればじょうずに節電できる	池上彰	小学館クリエイティブ
41	命を守る防災サバイバルBOOK	小学館	小学館
42	いつか帰りたいぼくのふるさと = Kitty's Journey from Fukushima	大塚敦子	小学館
43	フクシマ2011、沈黙の春	八木澤高明	新日本出版社
44	おもかげ復元師の震災絵日記	笹原留似子	ポプラ社
45	希望のキャンプ	田口ランディ	汐文社
46	親子のための地震イツモノート	寄藤文平	ポプラ社
47	放射線になんか、まけないぞ!	坂内智之	太郎次郎社エディタス
48	教室で教えたい放射能と原発	江川多喜雄	いかだ社
49	どうする? どうする? ほうしゃせん	山田ふしぎ	大月書店
50	立入禁止区域双葉		汐文社

Aセット(小学校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
51	ふくしまからきた子	松本猛	岩崎書店
52	どうする? どうする? ほうしゃせん/図書館版	山田ふしぎ	大月書店
53	ラース	ブラザートム	SDP
54	タンポポあの日をわすれないで	光丘真理	文研出版
55	イラクから日本のおともだちへ	佐藤真紀	子どもの未来社
56	ウリンボー	荒井良二	芸術新聞社
57	はしるってなに	和合亮一	芸術新聞社
58	ふるさととはフクシマ子どもたちの3.11	元気になろう福島	文研出版
59	フクシマから学ぶ原発・放射能	安齋育郎 監修	かもがわ出版
60	原子力がわかる事典	原子力教育を考える会	PHP研究所
61	放射線の大研究	原子力教育を考える会	PHP研究所
62	よくわかる放射線・放射能の問題	矢沢事務所	学研教育出版
63	「あの日」、そしてこれから	高橋邦典	ポプラ社
64	のこされた動物たち	太田康介	飛鳥新社
65	福島原発事故と女たち	近藤和子	梨の木舎
66	大震災サバイバルBOOK	テレンス・リー	主婦の友社
67	命を守る教育	片田敏孝	PHP研究所
68	まさき君のピアノ	橋本安代	ブックマン社
69	捨て犬・未来命のメッセージ	今西乃子	岩崎書店
70	さくら	馬場国敏	金の星社
71	2年目の3・11	加藤秀視 監修	栄久堂
72	ひとりじゃない	日本放送協会	NHK出版
73	21人の輪	杉浦大悟	NHK出版
74	死なない! 死なせない! 大震災から家族を守る!	三井康壽	世界文化社
75	白いガーベラ	内田麟太郎	今人舎
76	上を向いて歩こう!	のぶみ	講談社
77	命を預かる保育者の子どもを守る防災BOOK	猪熊弘子	学研教育出版
78	重症児者の防災ハンドブック	田中総一郎	クリエイツかもがわ
79	池上彰の学べるニュース/5(臨時特別号)	池上彰	海竜社
80	君の心で花は咲く	李承信	飛鳥新社
81	私とあなたここに生まれて	和合亮一	明石書店
82	「核の今」がわかる本	太田昌克	講談社
83	玉川徹のそもそも総研/原発・電力編	玉川徹	講談社
84	「被災者目線」の復興論	日野秀逸	新日本出版社
85	3.11を生きのびる	江川紹子	かもがわ出版
86	若者たちの震災復興	広井良典	農山漁村文化協会
87	3.11 / After	隈研吾	LIXIL出版
88	復興の書店	稲泉連	小学館
89	日本人は災害からどう復興したか	渡辺尚志	農山漁村文化協会
90	東日本大震災復興への道	田結庄良昭	クリエイツかもがわ
91	耐震・制震・免震が一番わかる	高山峯夫	技術評論社
92	日本復興(ジャパン・ルネッサンス)の鍵受け身力	呉善花	海竜社
93	震度7から家族を守る家	国崎信江	潮出版社
94	停電・震災に備えるPC管理術	橋本和則	技術評論社
95	東日本大震災からの復興まちづくり	佐藤滋	大月書店
96	地震わが家のお助けノート	玉木貴	青春出版社
97	3・11(さんてんいちいち)と憲法	森英樹	日本評論社
98	カラー図解ストップ原発/1	新美景子	大月書店
99	今こそ考えよう! エネルギーの危機/第1巻	小椋正己	文溪堂
100	見学! 自然エネルギー大図鑑/3(バイオマス・温度差発電ほか)	飯田哲也	偕成社



Aセット(小学校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
101	カーリーナのりんご	今関あきよし	子どもの未来社
102	甦れ! 気仙沼港	吉川順一	アートダイジェスト
103	東日本大震災2011・3・11「あの日」のこと	高橋邦典	ポプラ社
104	THE DAYS AFTER	石川梵	飛鳥新社
105	ほんのおおきさ特別編元気です! 東北の動物たち	尾崎たまき	学研教育出版
106	安斎育郎先生の原発・放射能教室/第2巻(なぜ、なに? 原発事故の危険)	安斎育郎	新日本出版社
107	3.11が教えてくれた防災の本/4(避難生活)	片田敏孝	かもがわ出版
108	3.11が教えてくれた防災の本/3(二次災害)	片田敏孝	かもがわ出版
109	3.11が教えてくれた防災の本/2(津波)	片田敏孝	かもがわ出版
110	3.11が教えてくれた防災の本/1(地震)	片田敏孝	かもがわ出版
111	よくわかる原子力とエネルギー/1	野口邦和	ポプラ社
112	よくわかる原子力とエネルギー/2	舘野淳	ポプラ社
113	よくわかる原子力とエネルギー/3	舘野淳	ポプラ社
114	カラー図解ストップ原発/4	高橋真樹	大月書店
115	カラー図解ストップ原発/3	新美景子	大月書店
116	カラー図解ストップ原発/2	新美景子	大月書店
117	まるこをすくった命のリレー	杏有記	文溪堂
118	生きている生きてゆく	「ビッグバレットふくしま避難所記」刊行委員会	
119	宮城県気仙沼発! ファイト新聞	ファイト新聞社	河出書房新社
120	ふくしまの子どもたちが描くあのとき、きょう、みらい。	蟹江杏	徳間書店
121	'12 子ども白書	日本子どもを守る会	草土文化
122	つなみ	森健	文藝春秋
123	福島の子もたちからの手紙	KIDS VOICE	朝日新聞出版
124	暮らしは私たちが守る	田口香世	商業界
125	みんなを守るいのちの授業	片田敏孝	NHK出版
126	地震のはなしを聞きに行く	須藤文音	偕成社
127	地震のひみつ	翠川三郎	学研教育出版
128	ドラえものの地震はなぜ起こるどう身を守る	藤子・F・不二雄	小学館
129	津波をこえたひまわりさん	今関信子	佼成出版社
130	ふたたびの春に	和合亮一	祥伝社
131	災害救助犬レイラ	井上こみち	講談社
132	フラガールと犬のチョコ = Hula girl and Choco	祓川学	ハート出版
133	はやく、家にかえりたい。	鎌田実	合同出版
134	世界の言葉で「ありがとう」ってどう言うの?	池上彰	今人舎
135	井戸水とお父さん	千葉直美	創風社
136	ガレキの中にできたカフェ	西山むん	明石書店
137	子どもを放射能汚染から守りぬく方法	武田邦彦	主婦と生活社
138	子どもたちの未来のために	斉藤武一	寿郎社
139	光になった馬。	EPO	主婦の友社
140	津波から生きのびた馬	白木恵委子	遊行社
141	4コマですぐわかるみんなの防災ハンドブック	草野かおる	ディスカヴァー・トゥエンティワン
142	放射能と子ども達	碓井静照	ガリバープロダクツ
143	原発事故と子どもたち	黒部信一	三一書房
144	震災と心のケア	片山和子	日東書院本社
145	14歳からの原発問題	雨宮処凛	河出書房新社
146	さようなら原発の決意	鎌田慧	創森社
147	日本人は「脱原発」ができるのか	川本兼	明石書店
148	大震災の記録と文学	須知徳平	勉誠出版
149	大悲	大雨雄峰	文芸社
150	田坂教授、教えてください。これから原発は、どうなるのですか?	田坂広志	東洋経済新報社

Bセット(中高校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
1	東日本大震災に学ぶ日本の防災	地震予知総合研究振興会	学研教育出版
2	三連動地震迫る	木股文昭	中日新聞社
3	地球の声に耳をすませて	大木聖子	くもん出版
4	写真集 ツナミの涙 -これからの僕たちへ-	上田聡 写真	第三書館
5	いちばんよくわかる防災・防火・セキュリティ設備	タック	TAC出版事業部
6	災害について学ぶ		上毛新聞社
7	東日本大震災	朝日新聞社	朝日新聞出版
8	日本人の底力	産業経済新聞社	産経新聞出版
9	日本の自然災害		昭文社
10	3.11の衝撃震災・原発特報部は伝えた	東京新聞	中日新聞社
11	3.11大震災・原発災害の記録	橋本紘二	農山漁村文化協会
12	チェルノブイリ春	中筋純	二見書房
13	東日本大震災全記録		河北新報社
14	東日本大震災		神戸新聞社
15	自衛隊員が撮った東日本大震災	マガジンハウス	マガジンハウス
16	闘う日本	産業経済新聞社	産経新聞出版
17	津波被災前・後の記録	東北建設協会	河北新報出版センター
18	巨大津波が襲った3・11大震災		河北新報社
19	平成の三陸大津波		岩手日報社
20	鎮魂3.11平成三陸大津波		東海新報社
21	ふるさと東北	日貿出版社	日貿出版社
22	インフォグラフィクス原発	Gonstalla Esther	岩波書店
23	東日本大震災の記録	陽捷行	養賢堂
24	もし東京湾に津波がきたら	佐野隆	講談社
25	子どもの命は守られたのか	数見隆生	かもがわ出版
26	大震災自閉っこ家族のサバイバル	高橋みかわ	ぶどう社
27	海に沈んだ故郷(ふるさと)	堀込光子	連合出版
28	がれきの中の天使たち	椎名篤子	集英社
29	いのちを守る都市づくり/課題編(東日本大震災から見えてきたもの)	大阪市立大学	大阪公立大学共同出版会
30	大災害と子どものストレス	藤森和美	誠信書房
31	地震に克つニッポン	東京大学海洋アライアンス	小学館
32	津波と原発	佐野真一	講談社
33	新たな防災政策への転換	中村八郎	新日本出版社
34	首都直下地震にいますぐ備える本	阿部慶一	河出書房新社
35	首都圏大震災その予測と減災	角田史雄	講談社
36	すぐできる!「地震に強い家」にする80の方法	高森洋	講談社
37	福島からあなたへ	武藤類子	大月書店
38	南相馬10日間の救命医療	太田圭祐	時事通信出版局
39	「あの日」に生まれてきた命	鮫島浩二	アスペクト
40	なぜ院長は「逃亡犯」にされたのか	森功	講談社
41	医師たちの証言	谷川攻一	へるす出版
42	帰宅難民なう。	難民A	北辰堂出版
43	SOS! 500人を救え!	森安章人	三一書房
44	ドキュメント東日本大震災救助の最前線で	イカロス出版株式会社	イカロス出版
45	シンプルに生きる。	柳田邦男	清流出版
46	大震災日本列島が揺れた	まどみちお	小峰書店
47	きちんと逃げる。	広瀬弘忠	アスペクト
48	東日本大震災津波	越野修三	ぎょうせい
49	長野県の地震入門	塚原弘昭	しなのき書房
50	東日本大震災・ダイジェスト		近代消防社



Bセット(中高校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
51	2011年東日本大震災で発生した千葉県北東部の津波	加瀬靖之	文芸社
52	津波と海岸林 = Coastal forest for tsunami	佐々木寧	共立出版
53	小さな町を呑みこんだ巨大津波	やまもと民話の会	小学館
54	震災と語り	小泉武栄	三弥井書店
55	私が見た大津波	河北新報社	岩波書店
56	松林が命を守る	遠山益	第三文明社
57	それでもいまは、真っ白な帆を上げよう	旺文社	旺文社
58	海をうらまない	佐藤啓子	合同出版
59	3・11メルトダウン	日本ビジュアルジャーナリスト協会	凱風社
60	春を待つ里山	山口明夏	ポプラ社
61	南三陸町からの手紙	野寺治孝	栄久堂
62	これからだ	林家木久扇	今人舎
63	みんな生きていたい	今井幸彦	萌文社
64	3.11 あの日を忘れない / 1	石塚夢見	秋田書店
65	3.11 あの日を忘れない / 2	くりた陸	秋田書店
66	3.11 あの日を忘れない / 3	ごとう和	秋田書店
67	3.11 あの日を忘れない / 4	高瀬由香	秋田書店
68	3.11 あの日を忘れない / 5	あしたかおる	秋田書店
69	「地震予知」にだまされるな!	小林道正	明石書店
70	3・11を超えて	河北新報社	無明舎出版
71	生存者	根岸康雄	双葉社
72	あのとき、大川小学校で何が起きたのか	池上正樹	青志社
73	さかな記者が見た大震災石巻讃歌	高成田享	講談社
74	言葉に何ができるのか	佐野真一	徳間書店
75	沈黙の海	菊田郁	潮出版社
76	小説・震災後	福井晴敏	小学館
77	天災人災格言集	平井敬也	興山舎
78	大地震にそなえる自分と大切な人を守る方法	渡辺実	中経出版
79	みんなで考える図書館の地震対策 = Earthquake Disaster Management in Libraries	日本図書館協会	日本図書館協会
80	防災・災害対応の本質がわかる本	二宮洸三	オーム社
81	災害からみる防災・減災Q&A	藤田嘉美	オーム社
82	原発事故・全町避難大熊町学校再生への挑戦	武内敏英	かもがわ出版
83	復興は現場から動き出す	上昌広	東洋経済新報社
84	復興に命をかける	村井嘉浩	PHP研究所
85	悲しみを乗り越えて共に歩もう	西村一郎	合同出版
86	東日本大震災スーパー復興案	町田守	文芸社
87	てんつく怒髪	落合恵子	岩波書店
88	ガールズ1000人のリアル震災体験	魔法のiらんど	アスキー・メディアワークス
89	災害時ケータイ&ネット活用BOOK	西田宗千佳	朝日新聞出版
90	今日もフツーにごはんを食べる	枝元なほみ	芸術新聞社
91	福島空の下で	佐藤幸子 農業	創森社
92	福島原発事故はなぜ起きたか	井野博満	藤原書店
93	福島原発事故と放射能Q&A	歴史教育者協議会	平和文化
94	福島原発で何が起きたか	田中三彦	岩波書店
95	日本人はなぜ大災害を受け止めることができるのか	大石久和	海竜社
96	ホテルよ、福島にふたたび	阿部宣男	アスペクト
97	これでわかるからだのなかの放射能	安斎育郎	合同出版
98	放射能汚染から命を守る最強の知恵	阿部一理	コスモトゥーワン
99	プロメテウスの罫 / 4 (徹底究明! 福島原発事故の裏側)	朝日新聞社	学研パブリッシング
100	プロメテウスの罫 / 3 (福島原発事故、新たなる真実)	岩崎賢一	学研パブリッシング

Bセット(中高校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
101	プロメテウスの罠/2(検証! 福島原発事故の真実)	朝日新聞社	学研パブリッシング
102	プロメテウスの罠	朝日新聞社	学研パブリッシング
103	基本を知る放射能と放射線	藤高和信	誠文堂新光社
104	死の淵を見た男	門田隆将	PHP 研究所
105	私たちの3・11	坂田雅子	オフィスエム
106	ドイツに学ぶ地域からのエネルギー転換	寺西俊一	家の光協会
107	原発はなぜ日本にふさわしくないのか	竹田恒泰	小学館
108	原発にしがみついた人びとの群れ	小松公生	新日本出版社
109	「節電女子」の野菜レシピ!	矢野さくの	アスコム
110	終りのない惨劇	ミシェル・フェルネクス	緑風出版
111	原発はやっぱり割に合わない	大島堅一	東洋経済新報社
112	ある歌人の「脱原発」二十余年の手記から	今全楽	栄光出版社
113	IT時代の震災と核被害	編集部	インプレスジャパン
114	エネルギーと放射線の授業	千葉保	太郎次郎社エディタス
115	原発と震災	石橋克彦	岩波書店
116	いまこそ私は原発に反対します。	佐々木謙	平凡社
117	日本のエネルギー、これからどうすればいいの?	小出裕章	平凡社
118	大停電(ブラックアウト)を回避せよ!	夏目幸明	PHP 研究所
119	原発裁判	桜井淳	潮出版社
120	それでも日本は原発を止められない	中野剛志	産経新聞出版
121	Japanレポート3.11	Brandner Judith	未知谷
122	日本の原発、どこで間違えたのか	内橋克人	朝日新聞出版
123	奇跡の生還	上部和馬	コスモトゥーワン
124	災害ボランティア・ブック	平凡社	平凡社
125	東日本大震災復興への提言	風見正三	東京大学出版会
126	被災、石巻五十日。	皆川治	国書刊行会
127	私は、あなたを忘れない	小田豊二	麗澤大学出版会
128	まげねっちゃ	まげねっちゃプロジェ	青志社
129	野崎洋光のおいしい節電レシピ	野崎洋光	東洋経済新報社
130	震災の石巻 一再生への道	創風社	創風社
131	ポスト3・11の子育てマニュアル	富永良喜	講談社
132	「つなみ」の子どもたち	森健	文藝春秋
133	海と、がれきと、ボールと、絆。= sea, rubble, balls and Kizuna.	山口北州印刷株式会社	講談社
134	子どもたちの未来を創るエネルギー	田中優	子どもの未来社
135	図解知らないではすまされない、エネルギーの話	澤昭裕	ワック
136	原発一揆	針谷勉	サイゾー
137	原発と憲法9条	小出裕章	遊絲社
138	いま福島で考える	桜井勝延	桜井書店
139	明日へ	日本放送協会	NHK 出版
140	希望	乙武洋匡	講談社
141	のこされたあなたへ	一条真也	佼成出版社
142	啓け!	岩田やすてる	コスモの本
143	待ちつづける動物たち	太田康介	飛鳥新社
144	ラジオが見つけない命	鈴木孝也	河北新報出版センター
145	震災の石巻 一そこから	創風社	創風社
146	石巻赤十字病院の100日間	由井りょう子	小学館
147	がんばっぺし! ペしぺし!	戸羽太	大和出版
148	被災者に寄りそう医療	稲光宏子	新日本出版社
149	子どもたちの3.11	Create Media	学事出版
150	モアイの絆 = Lazo que une el Moai		言視舎



Cセット(中高校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
1	いのちを守る	佐藤仁	へるす出版
2	3・11と私	石牟礼道子	藤原書店
3	東日本大震災から学ぶ「津波にも負けず」	森田武	近代消防社
4	あれからの日々を数えて	大野太輔	大月書店
5	活断層とどう向き合うか	常田賢一	理工図書
6	慈悲の怒り	上田紀行	朝日新聞出版
7	グリーンケア入門	山本佳世子	勁草書房
8	3・11後に心のフタが壊れてしまった人たち	堀之内高久	産経新聞出版
9	発達障害児者の防災ハンドブック	新井英靖	クリエイツかもがわ
10	「五強」防災立国論	佐藤信秋	産経新聞出版
11	これだけは知っておきたい原発事故と放射能の基礎知識	関根一昭	平和文化
12	原発事故緊急対策マニュアル	日本科学者会議	合同出版
13	脱原発・再生可能エネルギーとふるさと再生	村田武	筑波書房
14	原発・放射能図解データ	野口邦和	大月書店
15	新エネルギー	大和総研	アスキー・メディアワークス
16	3.11絆のメッセージ	亀松太郎	東京書店
17	日本人は原発とどうつきあうべきか	田原総一郎	PHP研究所
18	聞き書き震災体験	高倉浩樹	新泉社
19	それでも彼女は生きていく	山川徹	双葉社
20	福島県民23人の声	武田悦江	歴史春秋出版
21	津波からの生還	三陸河北新報社	旬報社
22	東日本大震災を生き抜く	鈴子陽一	つり人社
23	ボランティア僧侶	藤丸智雄	同文館出版
24	石巻・にゃんこ島の奇跡	石丸かずみ	アспект
25	語り継ぎたい。命の尊さ/新版	住田功一	学びリンク
26	心のおくりびと東日本大震災復元納棺師	今西乃子	金の星社
27	災害支援と地域づくり	京都民医連中央病院	せせらぎ出版
28	震災1年全記録	朝日新聞社	朝日新聞出版
29	東日本大震災		読売新聞東京本社
30	読売新聞記者が見つめた東日本大震災300日の記録	*	読売新聞東京本社
31	復活への記憶東北ふるさとのアルバム	マガジンハウス	マガジンハウス
32	東日本大震災原発事故ふくしま1年の記録	福島民報社	福島民報社
33	東日本大震災消防レスキュー写真で見る88日間の活動全記録		イカロス出版
34	東日本大震災		読売新聞東京本社
35	東日本大震災茨城全記録		茨城新聞社
36	東日本大震災2011.3.11特別報道写真集1カ月の全記録		京都新聞出版センター
37	天皇皇后両陛下被災地の人々との心の対話/第2版	小学館	小学館
38	FUKUSHIMA×フクシマ×福島	郡山総一郎	新日本出版社
39	みやぎの海辺思い出の風景		河北新報社
40	M9.0東日本大震災ふくしまの30日	福島民報社	福島民報社
41	気仙沼に消えた姉を追って	生島淳	文藝春秋
42	詩の磔	和合亮一	徳間書店
43	絶望の隣は希望です!	やなせたかし	小学館
44	非常時のことば	高橋源一郎	朝日新聞出版
45	あれから	俵万智	今人舎
46	ドキュメント震災三十一文字	日本放送協会	NHK出版
47	つなみ風花胡桃の花穂	佐藤フミ子	凱風社
48	希望の木	新井満	大和出版
49	果てなき荒野を越えて	高橋佳子	三宝出版
50	それでも三月は、また = March Was Made of Yarn	谷川俊太郎	講談社

Cセット(中高校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
51	海は憎まず	穂高健一	日新報道
52	3・11万葉集復活の塔 = March 11 Man'yoshu FUKUSHIMA "Tower of the Resurrection"	彦坂尚嘉	彩流社
53	がれきの中で本当にあったこと	産業経済新聞社	産経新聞出版
54	惑星(ほし)の祈り	久野わか	女子パウロ会
55	東日本大震災緊急災害対策本部の90日	小滝晃	ぎょうせい
56	あなたの住まいの震災対策Q&A	不動産コンサル21研究会	清文社
57	3.11(さんてんいちいち)被災地の証言	情報支援プロポプラットフォーム	インプレスジャパン
58	正しい被曝医療Q&A50	鈴木元	診断と治療社
59	フクシマから学ぶ原発・放射能/普及版	安齋育郎	かもがわ出版
60	目で見て分かる!放射能と原発	澤田哲生	双葉社
61	安齋育郎先生の原発・放射能教室/第3巻(放射能からいのちを守るために)	安齋育郎	新日本出版社
62	安齋育郎先生の原発・放射能教室/第1巻(放射線と放射能を学ぼう)	安齋育郎	新日本出版社
63	いま原発で何が起きているのか		京都新聞出版センター
64	いま原発で何が起きているのか		河北新報出版センター
65	いま原発で何が起きているのか		北海道新聞社
66	子ども白書 2011	日本子どもを守る会	草土文化
67	希望の桜。3.11 東日本大震災	鴨志田孝一	講談社
68	仮設のトリセツ	岩佐明彦	主婦の友社
69	フリスビー犬、被災地をゆく	石川梵	飛鳥新社
70	生きてやろうじゃないの!	武澤順子	青志社
71	津波、命がけの絆	于強	泰文堂
72	東日本大震災の科学	小原一成	東京大学出版会
73	ふくしまに生きるふくしまを守る	福島県警察本部	福島県警察互助会
74	大学の現場で震災を考える	三野博司	かもがわ出版
75	忘れない。	西條剛央	大和書房
76	ふたたび、ここから	池上正樹	ポプラ社
77	女たちが動く	やはたえつこ	生活思想社
78	「いのち」を伝える学校講話	渡辺正樹	教育開発研究所
79	チェルノブイリから学んだお母さんのための放射能対策BOOK	野呂美加	学陽書房
80	ボクが東電前に立ったわけ	園良太	三一書房
81	放射能を背負って	山岡淳一郎	朝日新聞出版
82	フクシマの王子さま	椎根和	芸術新聞社
83	3・11 福島から東京へ	東京災害支援ネット	山吹書店
84	「内部被ばく」こうすれば防げる!	漢人明子	文藝春秋
85	放射線災害と向き合って	福島県立医科大学附属病院	ライフサイエンス出版
86	放射能地震津波正しく怖がる100知識	河田恵昭	集英社
87	闘う市長	桜井勝延	徳間書店
88	どう身を守る?放射能汚染	渡辺雄二	緑風出版
89	3・11 複合被災	外岡秀俊	岩波書店
90	僕はしゃべるためにここへ来た	笠井信輔	産経新聞出版
91	原発列島/増補版	向中野義雄	大月書店
92	震災から一年後の被災地レポート	早川忠孝	PHPパブリッシング
93	ハッピーバースデイ3.11	並河進	飛鳥新社
94	あきらめない街、石巻その力に俺たちはなる	佐々木亨	ベースボール・マガジン社
95	ともしび	シュープレス株式会社	小学館
96	3.11以後を生きるヒント	三好亜矢子	新評論
97	ルポ原発難民	粟野仁雄	潮出版社
98	封印された震災死その「真相」	吉田典史	世界文化社
99	瓦礫にあらず	葉上太郎	岩波書店
100	被災地を歩きながら考えたこと	五十嵐太郎	みすず書房



Cセット(中高校様用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
101	東北の震災と想像力	鷲田清一	講談社
102	日本人は知らない「地震予知」の正体	Geller Robert J	双葉社
103	だけど、くじけない	長倉洋海	NHK出版
104	3・11から考える「家族」	真鍋弘樹	岩波書店
105	おもかげ復元師	笹原留似子	ポプラ社
106	何が来たって驚かぬえ!	有田芳生	駿河台出版社
107	証言記録東日本大震災	日本放送協会	NHK出版
108	津波の夜に	大西暢夫	小学館
109	大江戸災害ものがたり	酒井茂之	明治書院
110	福島原発事故をめぐって	山本義隆	みすず書房
111	これだけ知っていれば安心! 放射能と原発の疑問50	伊藤公紀	日本評論社
112	原発のない世界へ	小出裕章	筑摩書房
113	チェルノブイリの祈り	Aleksievich Svetlana	岩波書店
114	東京の3・11	都政新報社	都政新報社
115	チェルノブイリ原発事故がもたらしたこれだけの人体被害 = Health Effects of Chernobyl	松崎道幸	合同出版
116	原発ゼロ	安斎育郎	かもがわ出版
117	大学生がえがく脱原発の未来マニュアル	フェリス女学院大学エコキャンパス研究会	東京新聞
118	福島は訴える	福島県九条の会	かもがわ出版
119	原発テレビの荒野	加藤久晴	大月書店
120	なぜ即時原発廃止なのか	西尾漠	緑風出版
121	原発問題に「無関心」なあなたへ。	田中優	キラジェンヌ
122	高校生からわかる原子力	池上彰	ホーム社
123	考えてみようよ原発のこと/改訂版	原子力資料情報室	原子力資料情報室
124	備える! 3・11から	中日新聞社	中日新聞社
125	しおかぜ荘の震災	木村航	双葉社
126	3.11を心に刻んで	岩波書店	岩波書店
127	駐在記者発大槌町震災からの365日	東野真和	岩波書店
128	いま注意すべき大地震	木村政昭	青春出版社
129	東北の生命力	瀬戸山玄	岩波書店
130	人が死なない防災	片田敏孝	集英社
131	学校防災最前線	阪根健二	教育開発研究所
132	震災から身を守る52の方法	レスキューナウ	アスコム
133	待ったナシの防災習慣	橋本真希	文芸社
134	あなたは、次の災害で生き残れますか?	半田亜季子	近代消防社
135	東日本大震災と社会教育	石井山竜平	国土社
136	震災復興と自治	増田寛也	東京市政調査会
137	東日本大震災からの復興と教育方法		図書文化社
138	大震災を生き抜くための食事学	石川伸一	主婦の友インフォス情報社
139	東日本大震災と学校教育	笹川正	かもがわ出版
140	地震大国の防災を考える	目黒公郎	自由国民社
141	地震停電放射能みんなで生き抜く防災術	小学館	小学館
142	世界が日本のことを考えている	ウ・ブニャ・サラ	太郎次郎社エディタス
143	3.11からの復興と日本経済再建の構想	藤田実	かもがわ出版
144	必ず復興する日本のシナリオ	長谷川慶太郎	ポプラ社
145	東日本大震災からの復興覚書	伊藤滋	万来舎
146	原発依存と地球温暖化論の策略	中野洋一	法律文化社
147	防災白書 平成24年版	内閣府 編集	日経印刷
148	防災白書 平成23年版	内閣府 編集	佐伯印刷
149	災害 一その時学校は	日本安全教育学会	ぎょうせい
150	被災地の聞き書き101	東京財団	東京財団

Dセット(中学・高校用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
1	PRAY FOR JAPAN	prayforjapan.jp(編)	講談社
2	「あの日」からぼくが考えている「正しさ」について	高橋源一郎	河出書房新社
3	メディアと原発の不都合な真実	上杉隆	技術評論社
4	原子力報道	柴田鉄治	東京電機大学出版局
5	原発とメディア	上丸洋一	朝日新聞出版
6	3・11以前:美しい東北を永遠に残そう	「3・11以前」写真集プロジェクト事務局(編)	小学館
7	ファインダー越しの3・11	安田菜津紀	原書房
8	朝日新聞縮刷版 東日本大震災	朝日新聞社	朝日新聞社
9	Tsunami 3・11(落丁有)	豊田直巳	第三書館
10	いま原発で何が起きているのか:原発震災の100日		中国新聞社
11	南三陸から	佐藤信一	ADK南三陸町復興支援プロジェクト
12	Tsunami 3・11 / part2	第三書館編集部(編)	第三書館
13	3/11 キッズフォトジャーナル	3/11 Kids Photo Journal(編)	講談社
14	再び、立ち上がる!	河北新報社	筑摩書房
15	南三陸日記	三浦英之	朝日新聞出版
16	闘う東北	小寺陽一郎	朝日新聞出版
17	女川佐々木写真館	鈴木麻弓	一葉社
18	南三陸から = PHOTO LETTER FROM MINAMI SANRIKU	佐藤信一	ADK南三陸町復興支援プロジェクト
19	TSUNAMI 3・11 / PART3(東日本大震災「被災一周年」記録写真集)	第三書館編集部(編)	第三書館
20	災害弱者と情報弱者	田中幹人	筑摩書房
21	原発報道とメディア	武田徹	講談社
22	鎮魂と抗い	山本宗補	彩流社
23	検証 東電テレビ会議	朝日新聞社	朝日新聞出版
24	ドキュメント テレビは原発事故をどう伝えたのか	伊藤守	平凡社
25	原発崩壊	樋口健二	合同出版
26	Courrier Japon(クーリエ ジャパン)		講談社
27	原爆と原発ホビの聖なる預言	小原田泰久	学研パブリッシング
28	暴走する原発	広河隆一	小学館
29	こうして原発被害は広がった	Read Piers Paul	文藝春秋
30	原発アウトロー青春白書	久田将義	ミリオン出版
31	「脱原発」成長論	金子勝	筑摩書房
32	日本一わかりやすいエネルギー問題の教科書	水野倫之	講談社
33	孫正義のエネルギー革命	孫正義	PHP研究所
34	原発と権力	山岡淳一郎	筑摩書房
35	原発のどこが危険か/新版	桜井淳	朝日新聞出版
36	原発労働記	堀江邦夫	講談社
37	みんなの原子力発電	青山智樹	総合科学出版
38	図説危険な話/復刻	ふゅーじょんぶるだくと	ふゅーじょんぶるだくと
39	原発崩壊:想定されていた福島原発事故/増補版	明石昇次郎	金曜日
40	福島原発の真実	佐藤栄佐久	平凡社
41	原発と、危ない日本(にっぽん)4つの問題	武田邦彦	大和書房
42	原発と陰謀	池田整治	講談社
43	原発のない世界のつくりかた	「脱原発世界会議」実行委員会(編)	合同出版
44	海江田ノート	海江田万里	講談社
45	脱原発の市民戦略	上岡直見	緑風出版
46	原発事故と食品安全	遠藤保雄	農林統計出版
47	原発を拒み続けた和歌山の記録	汐見文隆	寿郎社
48	証言 細野豪志	細野豪志	講談社
49	ゴーマニズム宣言 SPECIAL 脱原発論	小林よしのり	小学館
50	No原発, ONE LOVE!	星川一星 aka いしだ壱成	青志社



Dセット(中学・高校用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
51	原発と拳銃	杉浦昭嘉	祥伝社
52	3.11の記録/原発事故篇	「3.11の記録」刊行委員会	日外アソシエーツ
53	わたしはゼツタイに負けない!!	石橋孝子	柴田書店
54	274人のアンケートから考えた大震災・放射能汚染3.11以後の備える・守る家族のための防災BOOK	武田邦彦、細川顕司(共著)	じゃこめてい出版
55	フクシマ/ヒロシマランニング	前島幹雄	彩流社
56	3.11の衝撃震災・原発特報部は伝えた	東京新聞(編)	東京新聞
57	クロニクル Fukushima	大友良英	青土社
58	ノーモア・フクシマ世紀の核惨事	浦上深作	あかね図書販売
59	@Fukushima	高田昌幸	産学社
60	チェルノブイリの菜の花畑から	川田昌東	創森社
61	福島原発事故放射線の不安や疑問に答えます	田邊裕	文芸社
62	福島核災棄民	若松丈太郎	コールサクク社
63	放射能を基本から知るためのキーワード84	Biddle Wayne	河出書房新社
64	放射線被ばくから子どもたちを守る	松井英介	旬報社
65	サイレントウォー	今中哲二	講談社
66	肥田舜太郎が語るいま、どうしても伝えておきたいこと	肥田舜太郎	日本評論社
67	放射能生活の注意事項	船瀬俊介	三五館
68	自分と子どもを放射能から守るには	Babenco Vladimir	世界文化社
69	手にとるように環境問題がわかる本	オフィステキスト	かんき出版
70	放射線・放射能がよく分かる本	多田順一郎	オーム社
71	どうする?放射能ごみ/増補改訂新版	西尾漢	緑風出版
72	放射能汚染の現実を超えて	小出裕章	河出書房新社
73	カウントダウン・メルトダウン(上)	船橋洋一	文藝春秋
74	カウントダウン・メルトダウン(下)	船橋洋一	文藝春秋
75	おしえて!もんじゅ君	大島堅一	平凡社
76	No NUKES 2012	坂本龍一	小学館スクウェア
77	官邸の100時間	木村英昭	岩波書店
78	核の力で平和はつくれぬ	市民意見広告運動(編)	合同出版
79	息子は死んだ:嶋橋原発被曝労災認定までの記録	嶋橋美智子	新読書社
80	ゴン太ごめんね、もう大丈夫だよ!	山路徹と救出チーム(編)	光文社
81	とんがりあたまのゴン太	仲本剛	光文社
82	東日本大震災語られなかった国交省の記録	道下弘子	JDC出版
83	東日本大震災を読む!	長谷川慶太郎	李白社
84	地域のレジリエンス	トーマス・エルムクヴィスト、香坂玲(編)	清水弘文堂書房
85	大災害に立ち向かう世界と日本	「大災害と国際協力」研究会 著	佐伯印刷
86	大震災後の社会学	遠藤薫	講談社
87	3.11クライシス!	佐藤優	マガジンハウス
88	大津波と原発	内田樹	朝日新聞出版
89	巨大地震リアルシミュレーション	久保範明	永岡書店
90	津波の後の第一講	鶴飼哲	岩波書店
91	東日本大震災と知の役割	片谷教孝	勁草書房
92	「心の財」はこわされない	佐藤千昌	潮出版社
93	ふたつの震災	西岡研介、松本創	講談社
94	消防団の闘い	日本消防協会	近代消防社
95	3.11を読む	松岡正剛	平凡社
96	歴史としての東日本大震災	岩本由輝	刀水書房
97	巨大津波:その時ひとはどう動いたか	NHKスペシャル取材班	岩波書店
98	東日本大震災と日本	関西学院大学災害復興制度研究所、高麗大学校日本研究センター(共編)	関西学院大学出版会
99	語り継ぐいいおか津波	光と風キャンペーン実行委員会(編)	三恵社
100	検証!首都直下地震	木村政昭	技術評論社

Dセット(中学・高校用)

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
101	連鎖する大地震	遠田晋次	岩波書店
102	命のバトン 津波を生きぬいた奇跡の牛の物語	堀米薫	佼成出版社
103	ナガサレール イエタテール	ニコ ニコルソン	太田出版
104	震災キャラバン	高嶋哲夫	集英社
105	誰かのためにできること	山本明文	商業界
106	YELL! : 東日本大震災チャリティーブック : がんばろう日本!	アスコム(編)	アスコム
107	同伴避難	児玉小枝	日本出版社
108	震災が教えてくれたこと	今野公美子	朝日学生新聞社
109	災害ストレスから子どもの心を守る本	内海裕美	河出書房新社
110	原発推進者の無念	北村俊郎	平凡社
111	石が叫ぶ福音: 喪失と汚染の大地から	林尚志	岩波書店
112	「脇役」たちがつないだ震災医療	辰濃哲郎	医業経済社
113	悲しんでいい	高木慶子	NHK出版
114	ボランティアナースが綴る東日本大震災	全国訪問ボランティアナースの会キャンナス(編)	三省堂
115	巨大地震から子どもを守る50の方法	国崎信江	ブロンズ新社
116	海の見える病院 語れなかった「雄勝」の真実	辰濃哲郎	医業経済社
117	ナース発東日本大震災レポート	日本看護協会出版会編集部(編)	日本看護協会
118	東日本大震災石巻災害医療の全記録	石井正	講談社
119	石巻赤十字病院、気仙沼市立病院、東北大学病院が救った命	石丸かずみ	アスペクト
120	原子力災害からいのちを守る科学	小谷正博	岩波書店
121	危機突破リーダー	仲摩徹彌	草思社
122	グローバル社会のコミュニティ防災	吉富志津代	大阪大学出版会
123	大震災サバイバルハンドブック	くぼうちふゆき	アスペクト
124	これ1冊でできる! わが家の防災マニュアル	国崎信江	明治書院
125	震災のときあったらいいもの手帖	チーム住まいと暮らし	住まいの学校
126	生活防衛ハンドブック: 食品編	小若順一	講談社
127	漂流被災者: 「人間復興」のための提言	山中茂樹	河出書房新社
128	日本人はなぜ震災にへこたれないのか	関裕二	PHP 研究所
129	復興の祈り: 東北地方太平洋沖地震被災者応援メッセージ集	復興の祈り編集部(編)	国民みらい出版
130	復興への一年: 3.11大震災・原発災害の記録2	橋本紘二	農村漁村文化協会
131	復興を取り戻す: 発信する東北の女たち	萩原久美子、皆川満寿美、大沢真理(編)	岩波書店
132	いま「原発」「復興」とどう向き合えばいいのか	村井嘉浩	PHP 研究所
133	「3.11」からの再生: 三陸の港町・漁村の価値と可能性	河村哲二、岡本哲志、吉野馨子(編著)	御茶の水書房
134	震災・ガレキを越えてカマヤんの夢畑	ありむら潜	明石書店
135	東日本大震災と被災者支援活動	愛知東邦大学地域創造研究所(編)	唯学書房
136	検証東日本大震災の流言・デマ	荻上チキ	光文社
137	東日本大震災ぎふ支援の記録	岐阜新聞社(編)	岐阜新聞社
138	東日本大震災被災者とボランティア声のアルバム100	東京ボランティア市民活動センター	東京都社会福祉協議会東京ボランティア・市民活動センター
139	3・11に問われて: ひとびとの経験をめぐる考察	葉上太郎(ほか著)	岩波書店
140	3・11 慟哭の記録	金菱清	新曜社
141	大学生、ボランティアの襪をつなぐ	神奈川大学(編)	御茶の水書房
142	シンチ、僕はどこに行ったらええんや	喜国雅彦	双葉社
143	震災日録: 記憶を記録する	森まゆみ	岩波書店
144	大震災でわかった学校の大問題	大森直樹	小学館
145	自衛隊かく闘えり	井上和彦	双葉社
146	〈核発電(ゲンバツ)〉を問う: 3・11後の平和学	戸田清	法律文化社
147	災害とロボット = Disaster and Robot	井上猛雄	オーム社
148	フラガール3.11: つながる絆	清水一利	講談社
149	道化師が動いた!: テントサーカスのはじまり、はじまり。	大棟耕介	生産性出版
150	東日本大震災海上自衛隊災害派遣の記録	(世界の艦船2011年12月号増刊)	海人社



編集後記

笑顔プロジェクト in school library 震災関連図書巡回展 開催中

東日本大震災発生から2年半が過ぎた2013年8月『3.11以降の全出版「本の力」展』が日本出版クラブ会館(東京・新宿)で開催されました。

主催者はこう呼びかけました

東日本大震災から3度目の3.11が過ぎて、今なお被災地には多くの課題が残されたままです。

この2年間出版界は何が出来て、何が出来なかったのでしょうか？

こうした思いを振り返り、この2年間に出版された東日本大震災に関わる本を、出版各社の協力のもと一堂に集めます。

夏休みを迎えた東京・神楽坂に、改めて私たちが被災地に心を寄せる空間を創ります。

主催者：<大震災>出版対策本部 キハラ株式会社 一般財団法人日本出版クラブ

日本出版クラブは、出版各社に大震災に関わる出版物を各3部、提供を呼び掛けました。

その呼びかけに応じて続々とクラブに到着する山のような本を見ながら、事前の調査ではすでに2000タイトルを超える作品が世に出ていると承知はしていましたが、その内容が多岐にわたっていることに驚くばかりでした。

これらの作品を展示するための事務処理については、津田塾大学の学生たちが大きな力となりました。キハラ株式会社(以下キハラ)による展示会に特化した書籍管理ソフトへのデータ入力等々はこの若い力が存分に発揮されたのです。

届いた作品は1470タイトル、4500冊を超えました。

暑い盛りの8月、来場者は本を手に取り緊張した面持ちで見入っていました。絵本を広げ目を潤ませているご婦人の姿も多数見受けられ、改めてこの震災によって傷ついた人々が大勢いたのだと思われたことでした。

開催中、出版関係者の中からこれらの作品を、「ここだけではなく、もっと多くの人々に知らせるべきだ」との声が澎湃とあがりました。

関係各者の尽力により、11月横浜で開催される「図書館総合展」での「本の力」展実施が実現しました。それが、後の公共図書館、大学図書館対象の巡回展そして、小・中・高等学校対象のそれへと発展してきました。

学校対象には1400点の中から150点を1セットとし、4セット用意しました。

選択する際にはこれまでの展示会用分類を参考にしつつも、構成を改めました。

6歳の子どもにも分かって欲しいという心情もあり、慎重に取り組んだものです。

震災で何が起きたのかを知り、この現実を風化させず、防災のためには何を学んだら良いのかを考えるきっかけとしてほしいとの願いを込めました。

2015年6月から学校巡回展が始まりました。

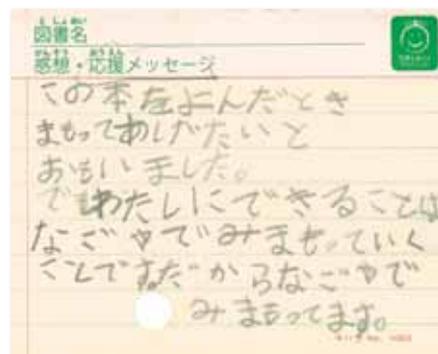
キハラでは「笑顔プロジェクト in school library」として取り組み、ホームページや展示会をとおして小・中・高等学校に呼びかけました。その結果、多くの学校から申し込みがありました。

1校1か月の貸出期間、開催校に費用の負担はなし、との条件です。

実地する学校には本と共に小さなカードを付け、被災地の子どもたちに励ましのメッセージを書いてくれるよう依頼しました。絵本、写真集、随筆等の展示作品を読んで、これまでに1200枚以上のメッセージ・カードが寄せられています。

小学1年生がまだ、たどたどしい文字で

「この本をよんだとき、まもってあげたいとおもいました。でもわたしにできることは、なごやでみまもっていくことです。だから、なごやでみまもってます。」

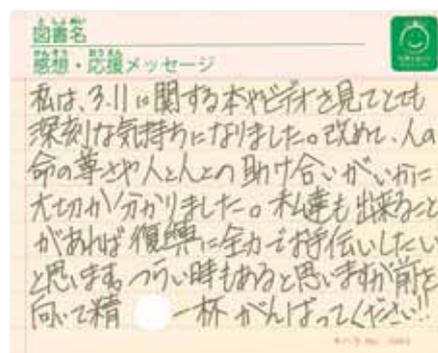


と書きました。

どれほど小さな胸を痛めたことか。「見守っているよ!」と優しい心遣いを感じ、胸が熱くなりました。

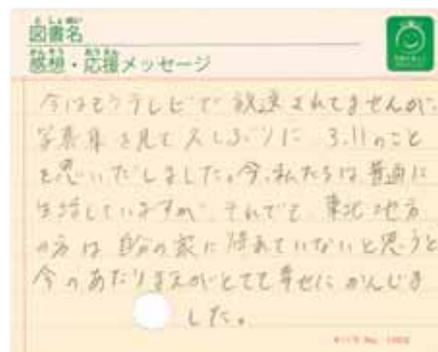
中学生のひとは

「私は3・11に関する本やビデオを見てとても深刻な気持ちになりました。改めて人の命の尊さや、人と人との助け合いがいかに大切か分かりました」



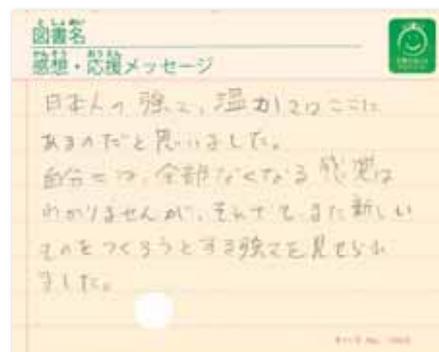
またもう一人の中学生は

「今、私たちは普通に生活していますが、それでも東北地方の方は自分の家に帰れていないと思うと今のあたりまえがとても幸せにかんじました」

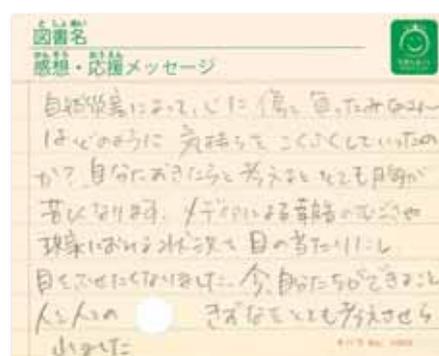


高校生からは

「自分には全部なくなる感覚は分かりませんが、それでも新しいものをつくろうとする強さを見せられました。日本人の強さ、温かさがここにあるのだと思いました」



「自然災害によって心に傷を負ったみなさんはどのように気持ちを克服していったのか？自分におきたらと考えるととても胸が苦しくなります。」



本をとおして被災地の様子にふれ、大変な暮らしの中にいる人々を想う心情に溢れています。

テレビなどで報道されたことを何気なく見ていた時には感じられなかったことが、自分の意思で本を手に取り、ページを広げるたびに現れる厳しい現実には、どうしていいのか分からない、焦燥感をも感じている様子が伝わってきます。

これはまさしく、目に見えない「本の力」がそこには広がっていたのだと思います。

震災直後から国内はもちろん、世界各国から多くの支援が寄せられました。今も音楽家、画家等芸術家たち、スポーツ選手たち、文学者たちが、それぞれの賜物を活かし、息の長い支援を続けていることでしょう。

本に関わる私たちは本をとおして、辛い時間を生きなければならなかった子ども達に、全国から寄せられた、心温まるメッセージと共に励ましを伝えていきたいと思います。

いま、多くの学校では、防災・減災教育に力を入れていると聞きます。災害は止めることができません。まさしく「いざという時」子どもを守るために大人は何が出来るのか、真摯に取り組まなければなりません。そのための手がかりに、この展示会が役立つことを願うものです。そして「何かせずにはいられない」と苦しみ、悲しみの中にいる人々にやさしい眼差しを寄せる若い人たちに期待したいものです。

齋藤 紀子

♪ご存知の方いらっしゃるでしょうか？

読書の普及を意図して昭和32年、全国学校図書館協議会は全国から読書の歌の歌詞を公募しました。入選作に曲がつけられレコード化し、全国の学校で歌われるようになった曲が

「あの夢この夢」と「船に港があるように」です。

しかし、時代の変遷の中でいつしか歌われなくなりました。「子どもたちが本を読まなくなった」といわれる現代に、改めてこの歌詞をかみしめ、子どもたちに歌われることを願うものです。

いつの時代も読書は人々の日常に潤いを与え、その人の人格形成に大きな役割を果たすことに変わりないのですから。

船に港があるように

作詞 波崎 勝
補訂 全国SLA
作曲 渡辺 浦人

一、船に港があるように

心に港をもちましよう

進む時代にさきがけて

しあわせを生む夢をよぶ

読書はかならず日に一度

胸の扉に いましよう

二、砂漠にオアシスあるように

心にオアシスもちましよう

すさぶこの世の雨風に

耐えて希望の灯をともし

読書はかならず日に一度

胸の扉に 書きましよう

三、空に太陽あるように

心に太陽もちましよう

知恵の木の実もすこやかに

あかるい文化の朝をよぶ

読書はかならず日に一度

胸の扉に 誓いましよう

あの夢この夢

作詞 宮田 隆
補訂 巽 聖歌
作曲 渡辺 浦人

一、海に向こうの国々の

かわったことやふしぎな話

本をひらけばとび出して

あの夢この夢えがき出す

読書はいいな

本は世界を かけめぐる

二、歴史伝記をひもとけば

すぐれた人の築いた道が

本の中からよみがえり

からだに力もえあがる

読書はいいな

本は時間をとびこえる

三、空にかがやく日のように

正しい科学きわめてみせて

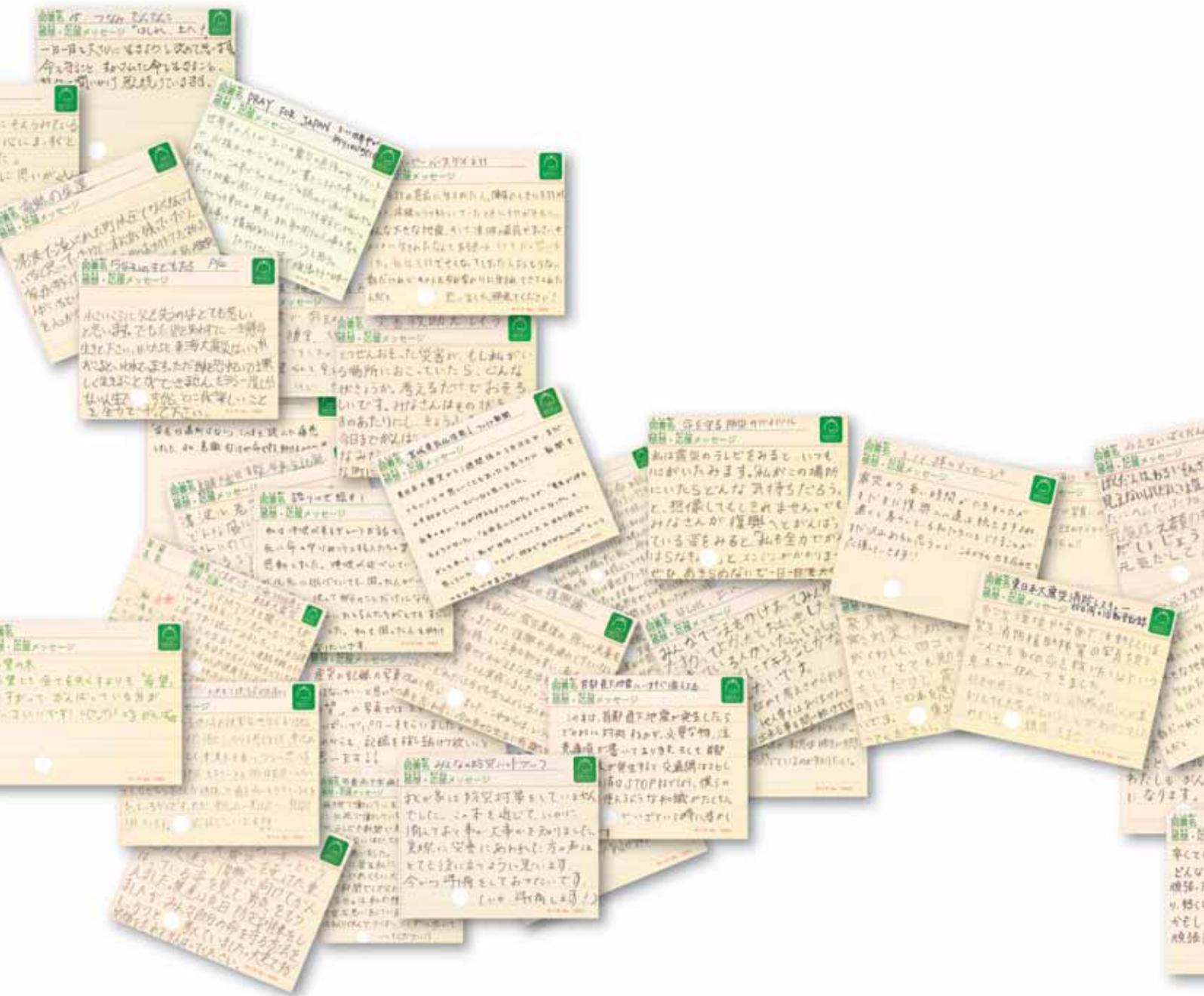
本は世界のひとびとの

くらしに豊かな火をともし

読書はいいな

本は心を ひきあげる





主催 笑顔プロジェクト製作委員会

協力 <大震災>出版対策本部

日本通運株式会社 千葉支店

発行：2018年4月